

## 検査

バルブの品質を確認するために、素材～完成品に至る各工程でさまざまな検査を実施している。図面通りにできているか、規格に適合しているか、性能・機能はお客様の要求を満足するものかを確認している。

1

### 1 鋳放検査 伊賀工場

鋳造した製品は目視検査のみで出荷されることはほとんどなく、各種非破壊検査にて品質を確認してから出荷される。



2

### 2 非破壊検査 本社・伊賀工場

両工場とも各種非破壊検査設備を保有し社内資格者にて検査を行い、高品質を保証している。



3

### 3 耐圧検査 本社工場

バルブが完成すると、高圧にバルブが耐えることができるか確認し、製品の安全性を確かめる重要な検査のひとつとなっている。



4

### 4 寸法検査 本社工場

前工程からリリース後、バルブの肉厚測定を行い、設計通りの寸法になっているか確認する。



#### [試験] 担当者の声

主な業務はバルブの水圧試験・気密試験・蒸気試験における合否判定を行っています。バルブの水圧試験・気密試験は高圧のものが多く、安全弁の蒸気試験では高温高圧での試験となるため、常に細心の注意を払いながら品質の維持、向上に努めています。



## メンテナンス

火力、ケミカル、原子力といったさまざまな現場でバルブの点検を行っている。

お客様のニーズに沿った現地サービスを実施しプラントの安全・安定運転に貢献すべく365日対応している。

1

### 1 アフターサービス

定期的な点検、緊急時の点検いずれにも対応し安全、顧客満足、品質の向上に努めている。



#### [メンテナンス] 担当者の声

火力プラントにおける一般工事、工作機械を用いた特殊工事の施工計画、管理を行っています。系統によってはその弁がプラントの運転に必要な役割を持っており常に安全、品質を第一に取り組んでいます。



- 本社調達
- 受入検査
- 非破壊検査
- 耐圧・漏れ検査
- 作動試験
- 寸法検査
- 出荷検査
- お客様納入
- メンテナンス
- 鋳仕上
- 鋳放検査
- 荒引加工
- 非破壊検査
- 出荷検査
- 出荷積込



# 資料編 Documents

- 会社概要
- 事業所一覧
- 出張所一覧
- グループ会社一覧
- 機構図
- 組織の変遷
- 売上高の推移
- 経常利益の推移
- 従業員数の推移
- 資本金の推移
- 大株主の推移
- 年表



## 会社概要

商号	株式会社TVE 英語表記 TVE Co., Ltd.
本社	〒660-0054 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号
創業	1922（大正11）年3月
設立	2000（平成12）年3月16日
資本金	17億3,955万9,810円（2021年9月30日現在）
代表者	代表取締役 笹野幸明
従業員数	491人（2022年3月31日現在）／337人（単体）
事業内容	各種バルブの製造販売およびメンテナンス、各種鋳鋼製品の製造販売
加入団体	日本バルブ工業会、石油学会、日本機械学会、日本貿易振興会、原子力安全研究協会、高圧ガス保安協会、溶接学会、火力原子力産業会議、大阪科学技術センター、地球環境産業技術研究機構、日本鋳鍛鋼会
認定 および 承認	中国核安全局 HAF604認証 中国安全弁製造許可証 高圧ガス保安規則の規定による認定工場 NK、LR、ABS、DNV・GL、BV、JG、KR、CCS中国船級社、CR中国船級社など各種船級協会承認 各電力会社およびプラントメーカーよりの品質保証体制の認定 ISO9001認証 特定建設業許可（管工事、機械器具設置工事） 一般建設業許可（電気工事、土木工事、とび・土工工事） 一般派遣業許可

## 事業所一覧

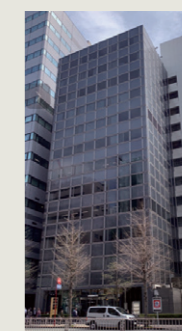
### 本社工場

〒660-0054  
兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号  
TEL 06-6416-1184  
FAX 06-6416-1305



### 東京支社

〒108-0014  
東京都港区芝5丁目34番6号新田町ビル4階  
TEL 03-5445-4862  
FAX 03-5445-4867



### 若狭事業所

〒919-2225  
福井県大飯郡高浜町宮崎77字西丁田13番4  
TEL 0770-71-0170  
FAX 0770-71-0171



### 伊賀工場（製鋼製造部）

〒519-1425  
三重県伊賀市川西1700番地1  
TEL 0595-45-4105  
FAX 0595-45-4109



## 出張所一覧

**泊出張所** 〒045-0201 北海道古宇郡泊村大字堀株村字ヘロカルウス 789  
北海道電力(株)泊発電所内 TEL 0135-75-3848 FAX 0135-75-3901

**京葉出張所** 〒299-0111 千葉県市原市姉ヶ崎 1022-1  
TEL 0436-62-8392 FAX 0436-62-7328

**浜岡出張所** 〒437-1604 静岡県御前崎市佐倉 5561 中部電力(株)浜岡原子力発電所内 保修3棟3階  
TEL 0537-86-8522 FAX 0537-86-8919

**中部サービスセンター** 〒510-8111 三重県三重郡川越町当新田 424-1  
TEL 059-363-7836 FAX 059-363-7837

**美浜出張所** 〒919-1201 福井県三方郡美浜町丹生 66 川坂山 5-3 関西電力(株)美浜発電所内  
TEL 0770-39-1244 FAX 0770-39-1338

**大飯出張所** 〒919-2101 福井県大飯郡おおい町大島 19-2 関西電力(株)大飯発電所内  
TEL 0770-77-1649 FAX 0770-77-1655

**高浜出張所** 〒919-2362 福井県大飯郡高浜町田ノ浦 1 関西電力(株)高浜発電所内  
TEL 0770-76-1144 FAX 0770-76-1236

**水島出張所** 〒712-8044 岡山県倉敷市東塚 1-16-18  
TEL 086-450-3708 FAX 086-450-3709

**柳井出張所** 〒742-0033 山口県柳井市新庄 307-8 塚本武喜ビル 2 F 202  
TEL 0820-23-4599 FAX 0820-23-4600

**伊方出張所** 〒796-0421 愛媛県西宇和郡伊方町九町字コチワキ 3 番地 四国電力(株)伊方発電所内  
TEL 0894-39-0570 FAX 0894-39-1249

**玄海出張所** 〒847-1441 佐賀県東松浦郡玄海町今村 九州電力(株)玄海原子力発電所内  
TEL 0955-52-2571 FAX 0955-52-2121

**川内出張所** 〒895-0132 鹿児島県薩摩川内市久見崎字片平山 1765-5 九州電力(株)川内原子力発電所内  
TEL 0996-27-3208 / 0996-27-3157 FAX 0996-27-3147

## グループ会社一覧

### トウアサービス株式会社

〒660-0054  
兵庫県尼崎市西立花町五丁目 12 番 1 号  
TEL 06-6416-5233



### TVE GLOBAL ASIA PACIFIC Pte. Ltd.

12J Enterprise Road, Enterprise 10,  
Singapore 627689  
TEL +65-6355-0027



### 東亜クリエイト株式会社

〒970-8044  
福島県いわき市中央台飯野 4 丁目 2 番地の 4  
いわきニュータウンセンタービル 4 階  
TEL 0246-84-5322



### TVEリファインメタル株式会社

〒919-2111  
福井県大飯郡おおい町本郷 119 字西里ヶ前 2 番地 4  
TEL 0770-77-5097

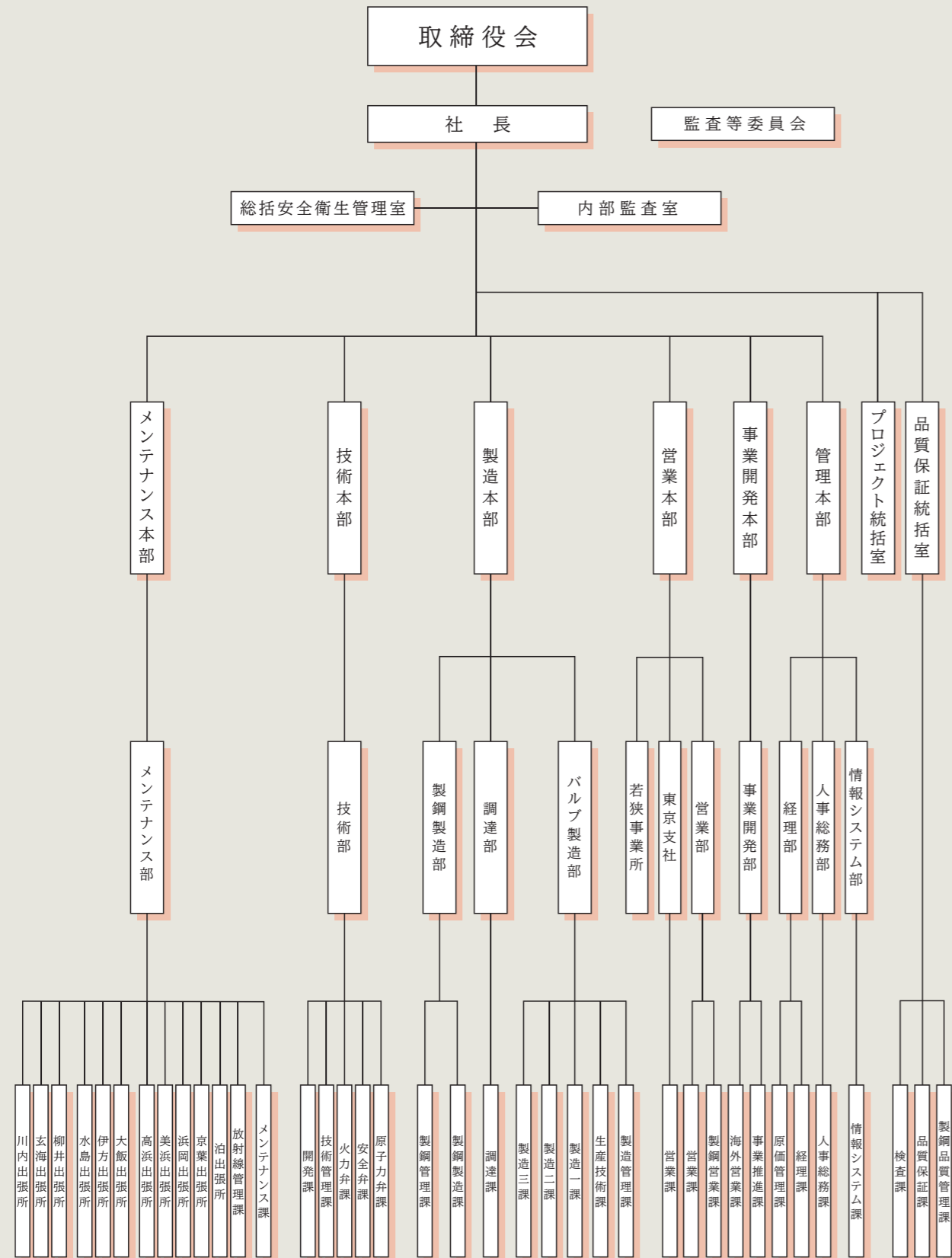


### 太陽電業株式会社

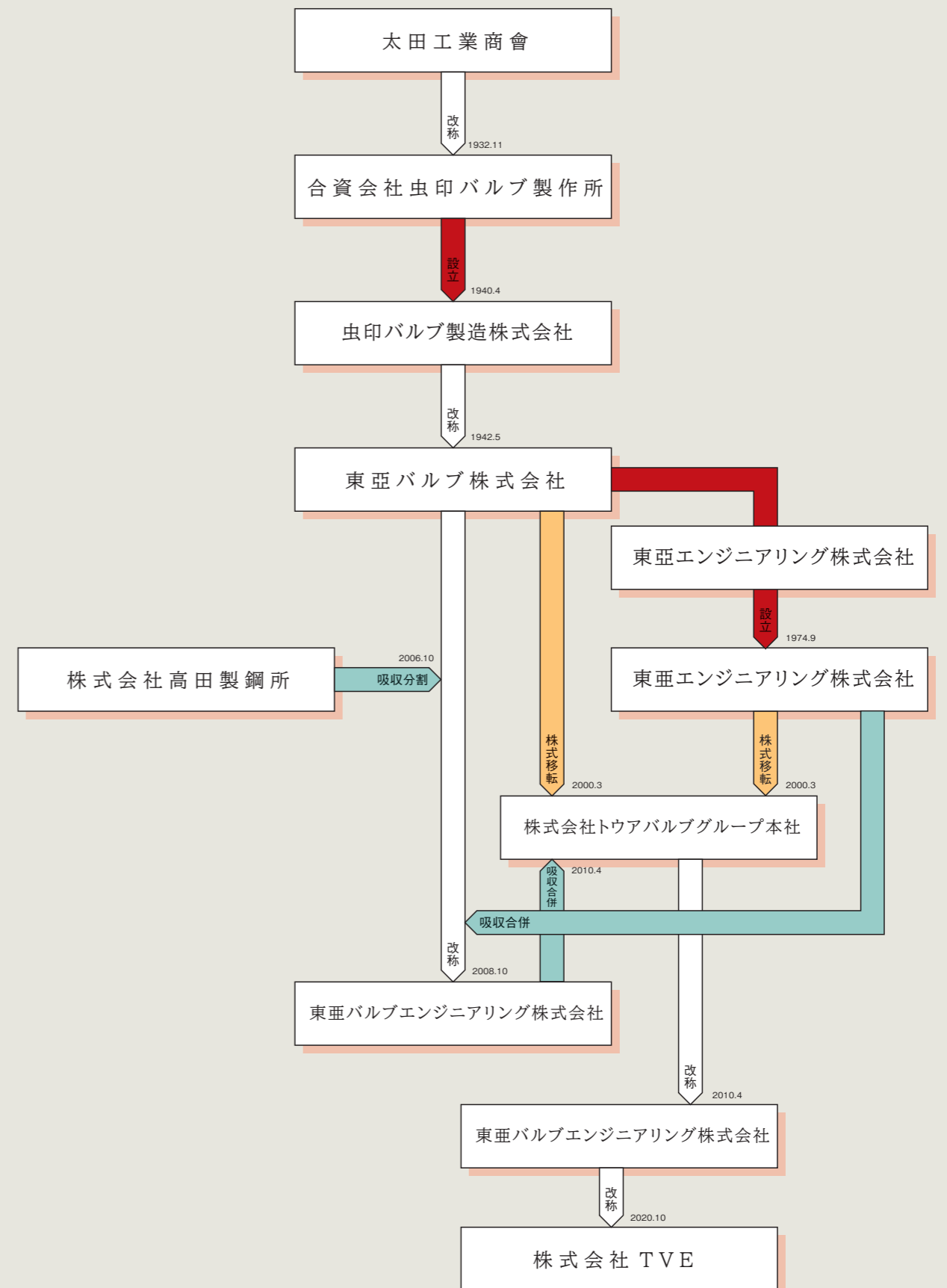
〒144-0052  
東京都大田区蒲田 1 丁目 30 番 10 号  
TEL 03-5703-3221



# 機構図



# 組織の変遷

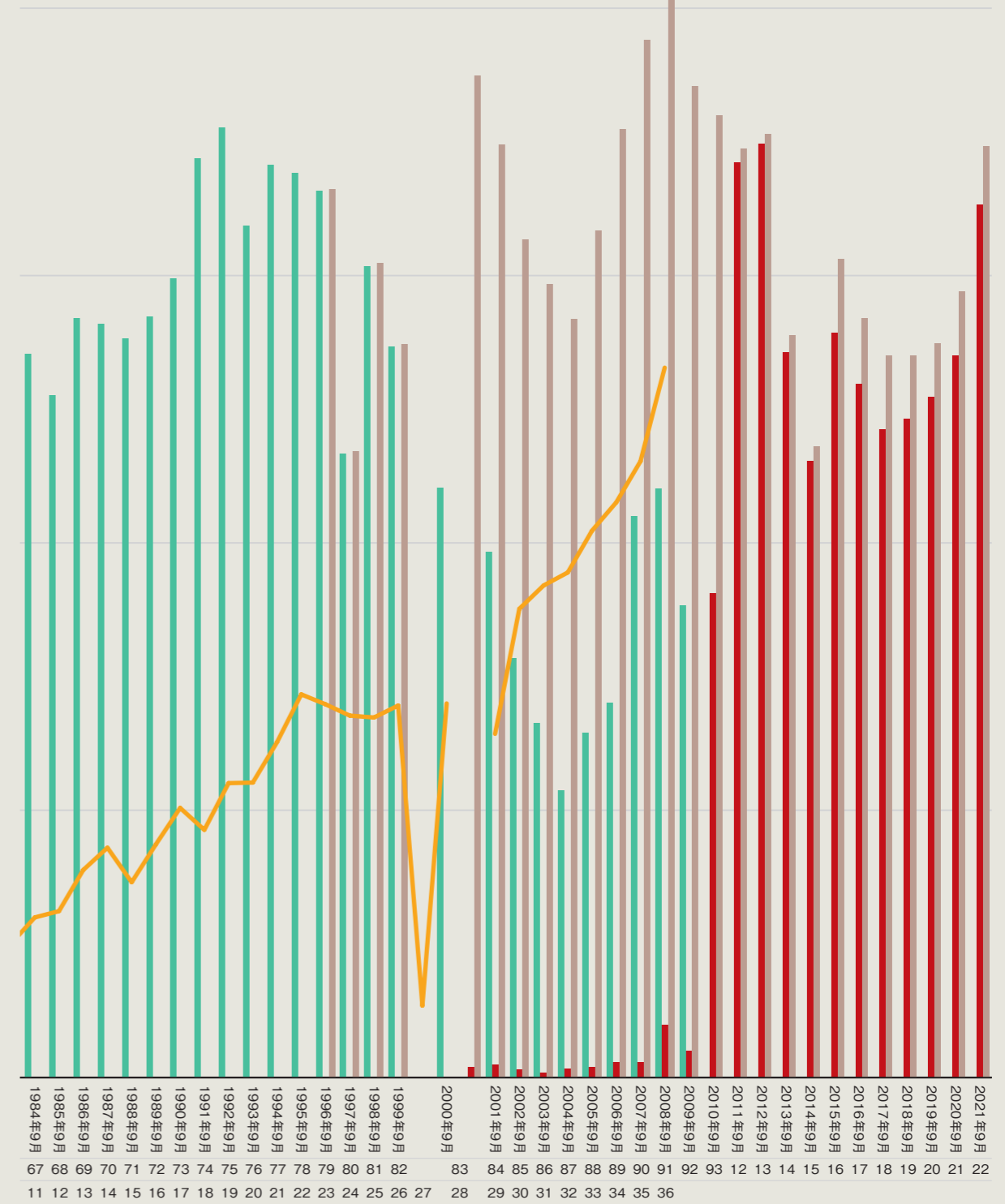
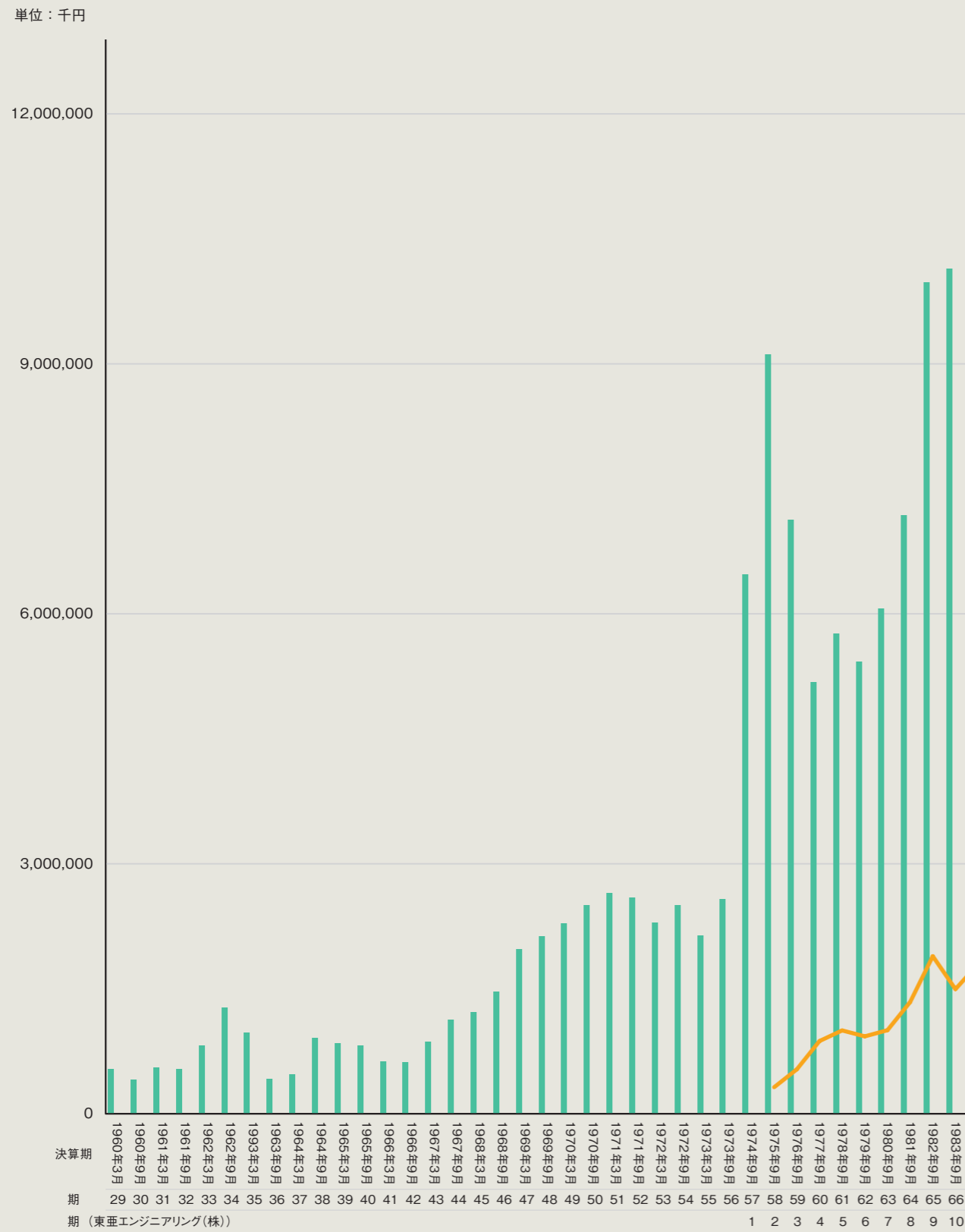




# 売上高の推移

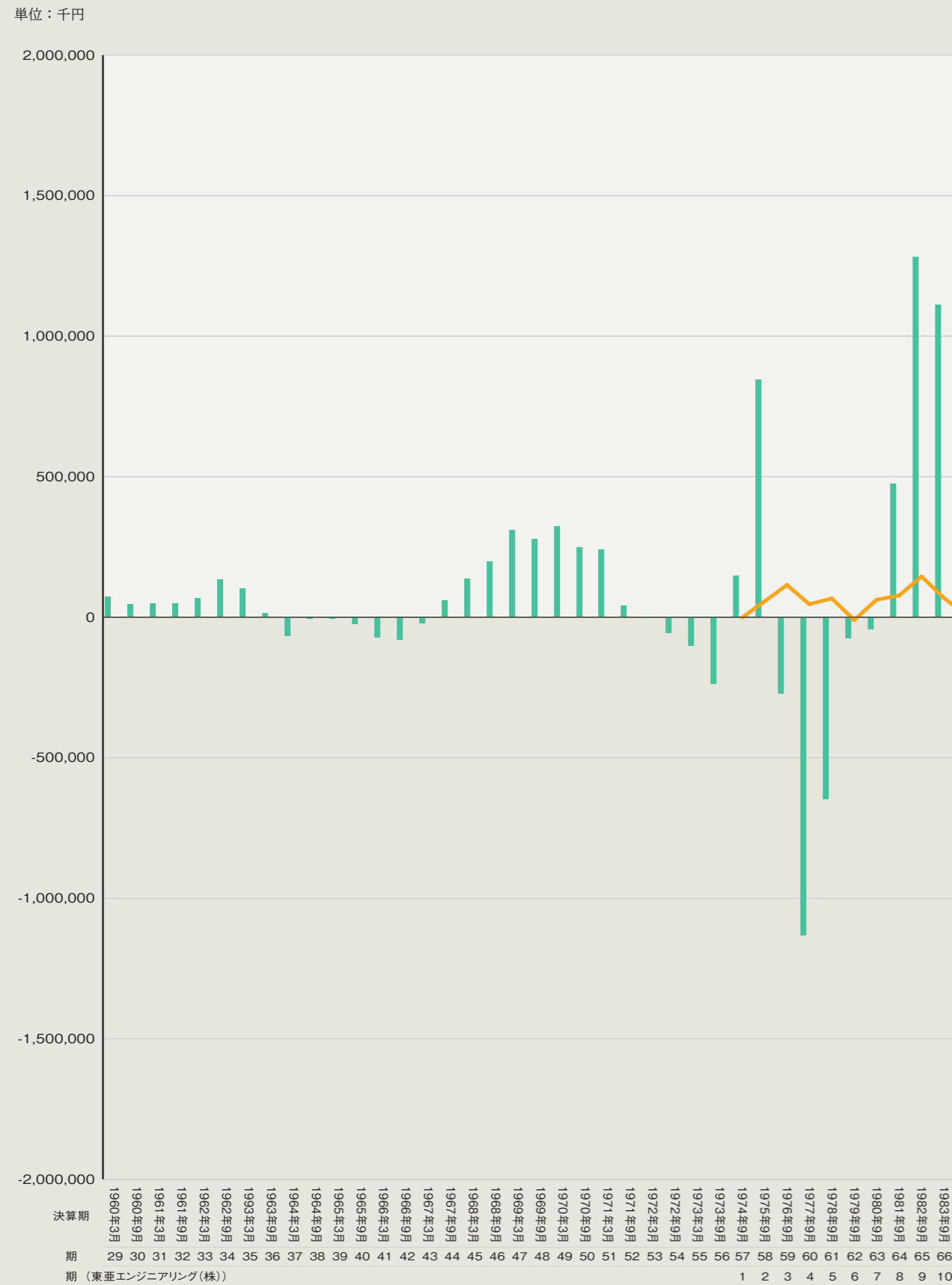
※ 2010年4月1日に㈱トウアバルブグループ本社は東亜バルブエンジニアリング㈱を吸収合併し、商号を東亜バルブエンジニアリング㈱に変更。

- 単体：東亜バルブ㈱
- 単体：㈱トウアバルブグループ本社 ⇒ 東亜バルブエンジニアリング㈱ ⇒ ㈱TVE
- 単体：東亜エンジニアリング㈱
- 連結

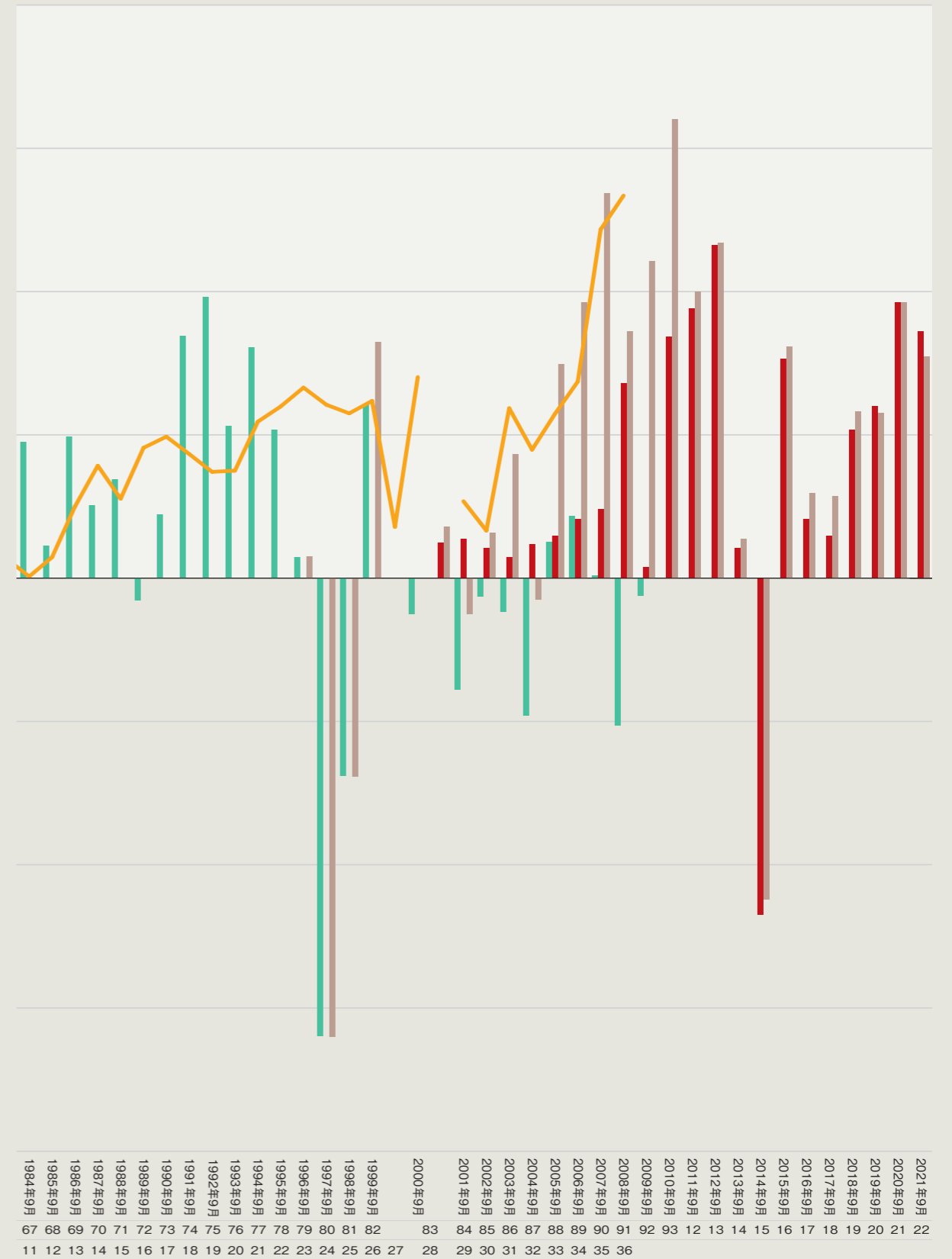


# 経常利益の推移

※2010年4月1日に㈱トウアバルブグループ本社は東亜バルブエンジニアリング㈱を吸収合併し、商号を東亜バルブエンジニアリング㈱に変更。



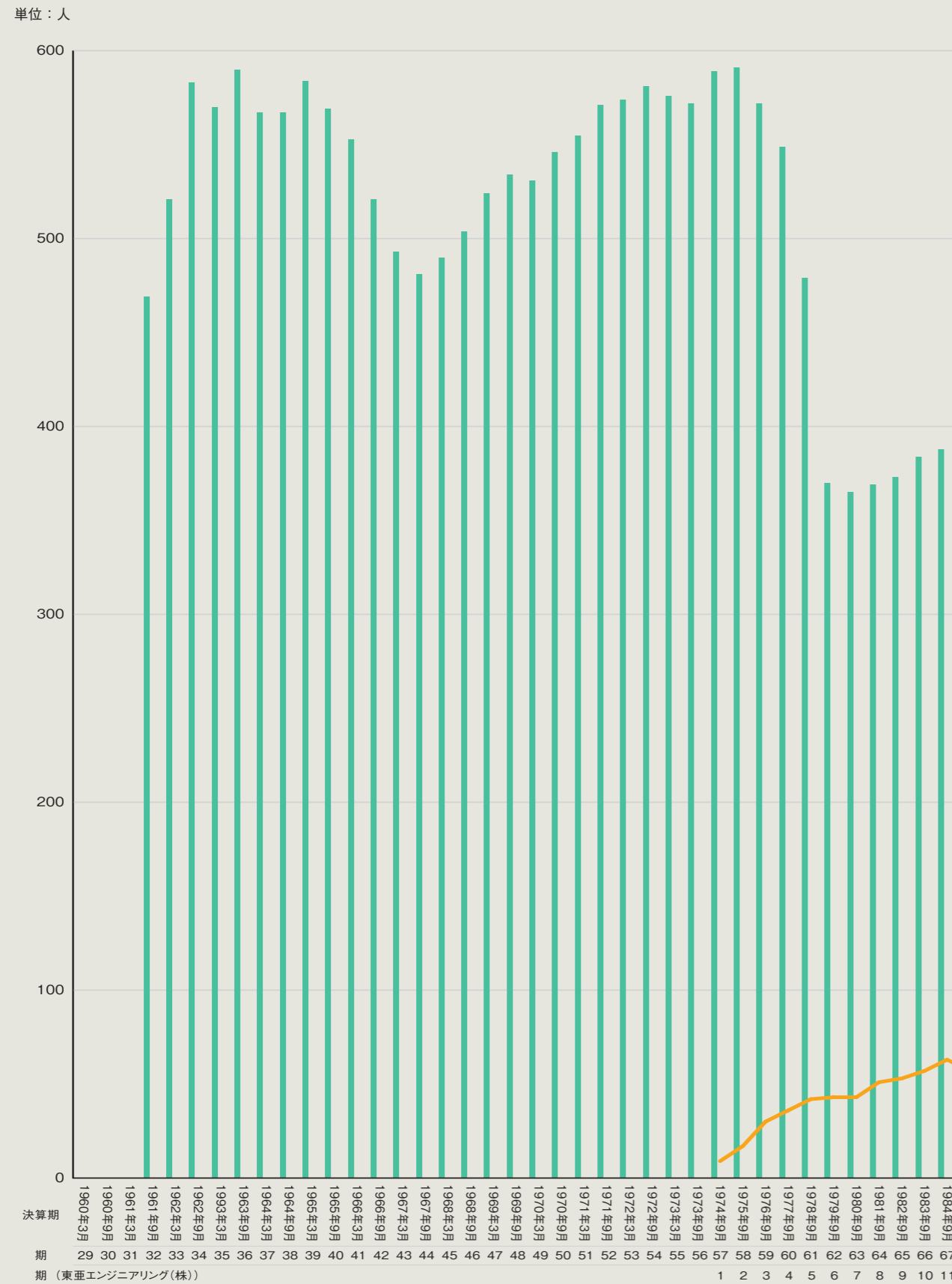
- 単体：東亜バルブ(株)
- 単体：㈱トウアバルブグループ本社 ⇒ 東亜バルブエンジニアリング(株) ⇒ ㈱TVE
- 単体：東亜エンジニアリング(株)
- 連結



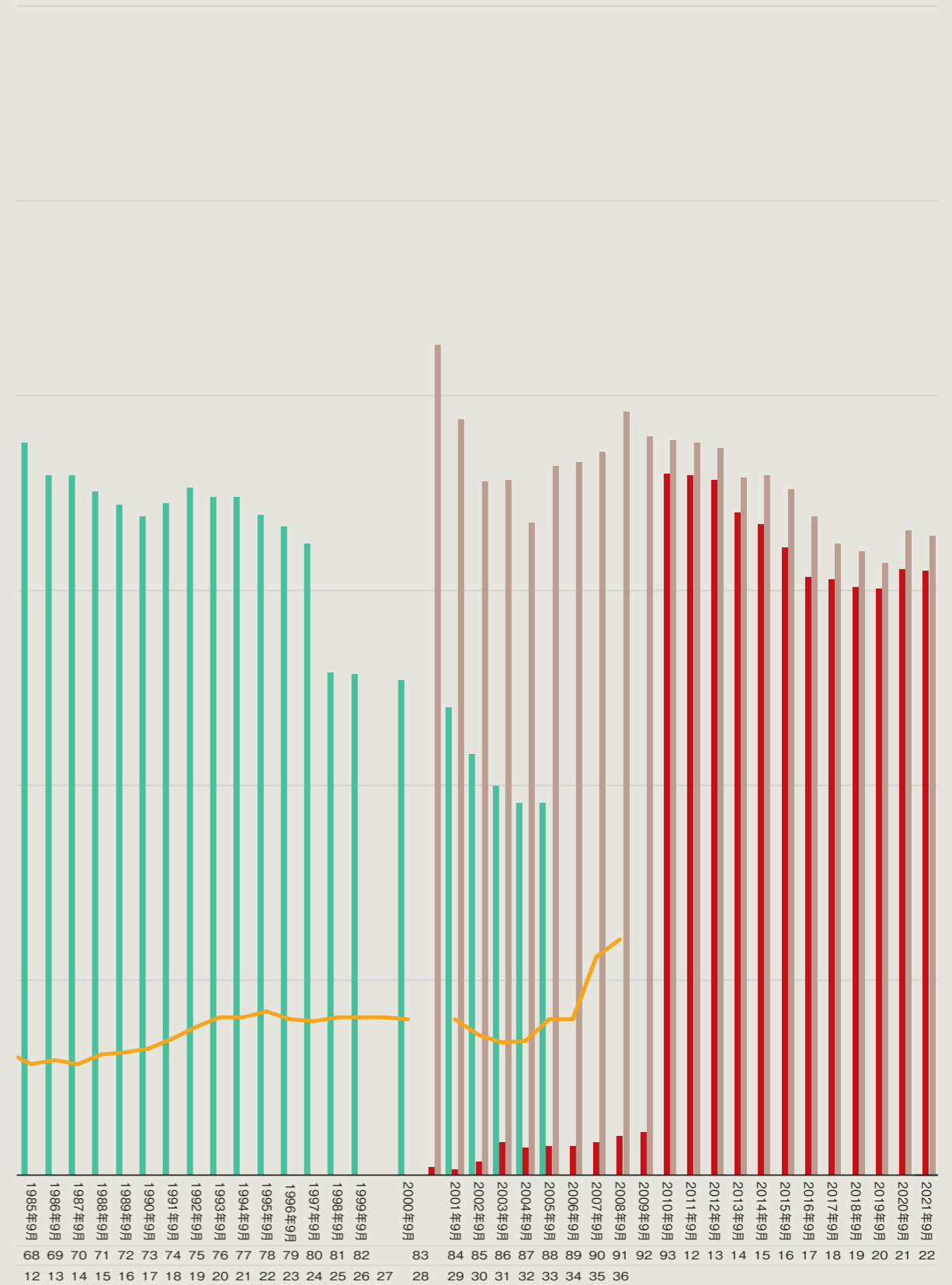


# 従業員数の推移

※2010年4月1日に㈱トウアバルブグループ本社は東亜バルブエンジニアリング㈱を吸収合併し、商号を東亜バルブエンジニアリング㈱に変更。

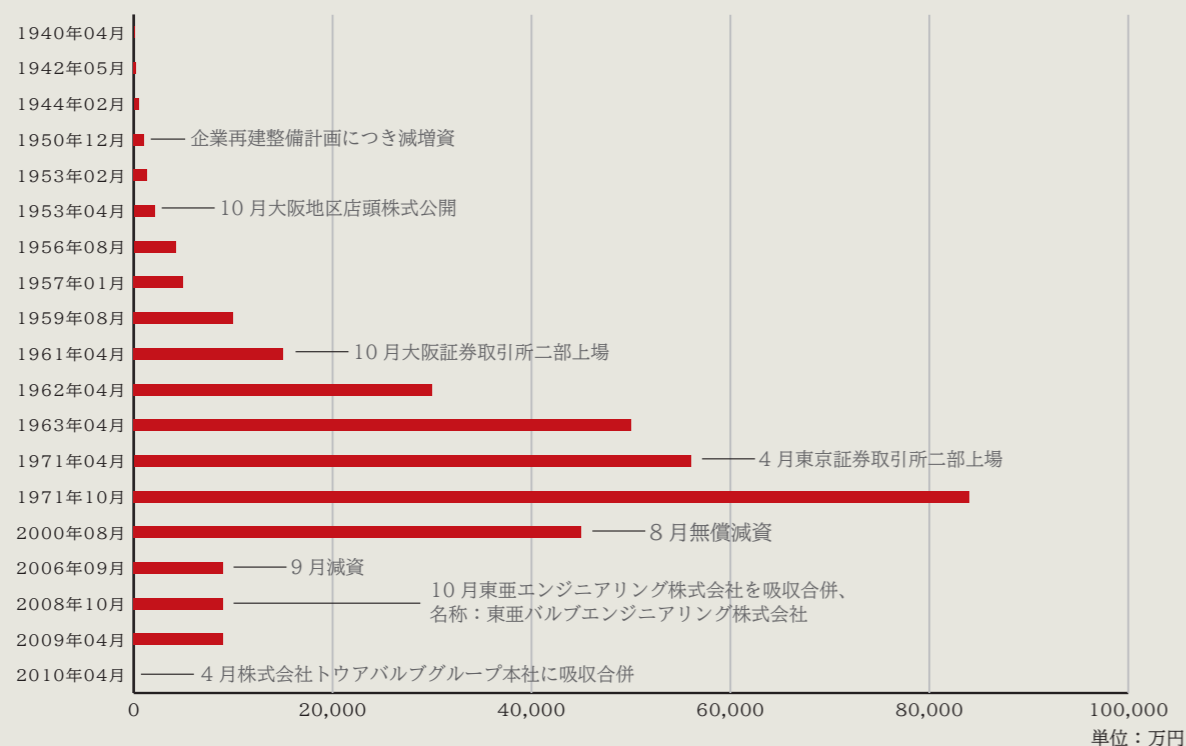


- 単体：東亜バルブ(株)
- 単体：㈱トウアバルブグループ本社 ⇒ 東亜バルブエンジニアリング(株) ⇒ ㈱TVE
- 単体：東亜エンジニアリング(株)
- 連結

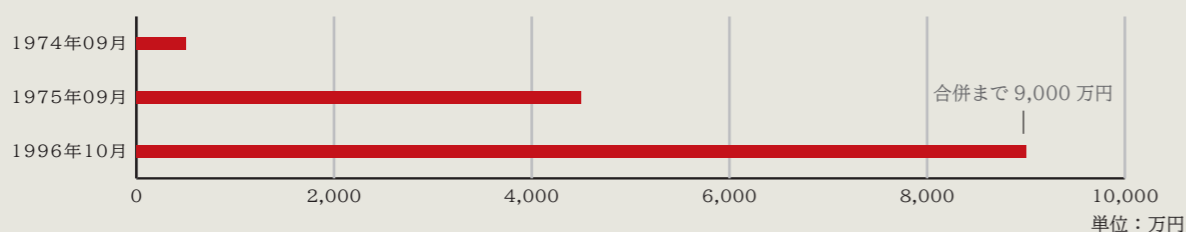


# 資本金の推移

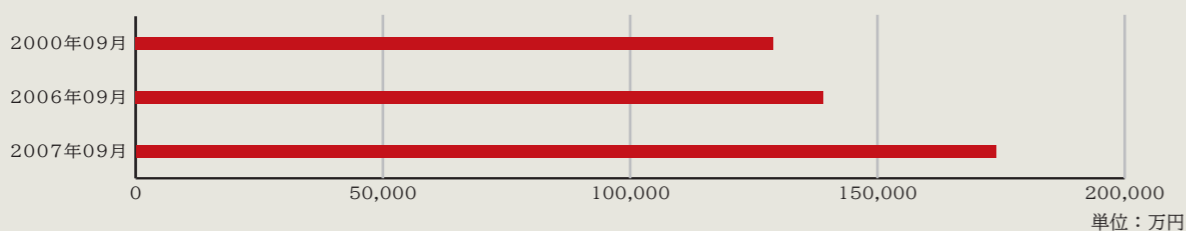
## ■ 東亜バルブ株式会社



## ■ 東亜エンジニアリング株式会社



## ■ 株式会社トウアバルブグループ本社→株式会社 TVE



# 大株主の推移

## ■ 東亜バルブ株式会社

設立当時:1940(昭和15)年4月5日現在

株主名	地域名	株数(株)
太田常太郎	大阪	11,000
三菱商事株式会社	東京	1,600
藤本列治	大阪	600
坂口賢市	大阪	600
関野省治	大阪	500
石村政一	広島	300
株式会社山岡発動機工作所	大阪	300
増成動力工業株式会社	大阪	300
笹倉敏郎	兵庫	300
山内健三郎	京都	300

株主移転直前:1999(平成11)年9月30日現在

株主名	出資比率(%)	株数(千株)
三菱商事株式会社	17.99	3,022
西華産業株式会社	6.02	1,011
三菱重工業株式会社	5.33	896
株式会社東京三菱銀行	4.05	680
TOA 取引先持株会	3.50	588
三菱信託銀行株式会社	3.02	508
東亜バルブ従業員持株会	2.55	428
太田光彦	1.53	257
株式会社さくら銀行	1.49	250
東京海上火災保険株式会社	1.47	247

## ■ 東亜エンジニアリング株式会社

設立当時:1975(昭和50)年9月30日現在

株主名	出資比率(%)	株数(株)
東亜バルブ株式会社	48.90	44,000
明石興業株式会社	23.30	21,000
高橋光子	11.10	10,000
柴田建設株式会社	6.70	6,000
谷田定雄	6.70	6,000
太田保則	3.30	3,000

株主移転直前:1999(平成11)年9月30日現在

株主名	出資比率(%)	株数(株)
東亜バルブ株式会社	30.00	54,000
谷田定雄	6.60	12,000
戸田正弘	3.60	6,500
濱田忠士	3.00	5,500
焦徳勝	2.20	4,000
三好求	1.80	3,400
山口良輔	1.80	3,400
中島耕造	1.80	3,400
日高正俊	1.70	3,200
甲山一義	1.70	3,200

## ■ 株式会社トウアバルブグループ本社→株式会社 TVE

設立当時:2000(平成12)年9月30日現在

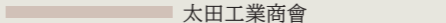


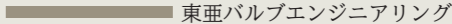

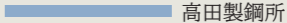
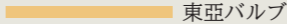
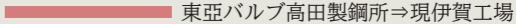


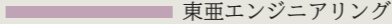

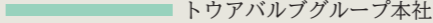
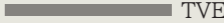
株主名	持株比率(%)	株数(株)
三菱商事株式会社	13.14	3,022.00
西華産業株式会社	4.40	1,011.74
三菱重工業株式会社	3.90	896.24
株式会社東京三菱銀行	2.96	680.00
TOA 取引先持株会	2.62	603.00
谷田定雄	2.61	600.00
三菱信託銀行株式会社	2.20	505.00
トウアバルブグループ従業員持株会	2.02	465.42
戸田正弘	1.47	338.00
太田光彦	1.25	288.02

2021(令和3)年3月31日現在

株主名	持株比率(%)	株数(株)
株式会社キッツ	13.17	302,200
光通信株式会社	9.85	226,100
西華産業株式会社	8.85	203,200
株式会社 UHPartners2	4.62	106,000
TOA 取引先持株会	4.42	101,400
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3.95	90,800
NPBN-SHOKORO LIMITED	3.32	76,200
株式会社三菱 UFJ 銀行	2.96	68,000
前島崇志	2.23	51,300
DAIWA CM SINGAPORE LTD (TRUST A/C)	1.85	42,500

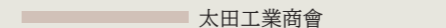
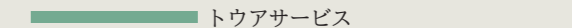
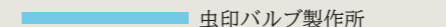
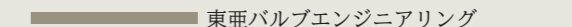
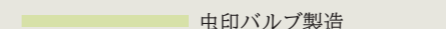

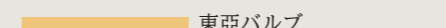
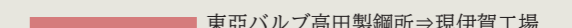
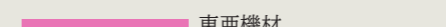

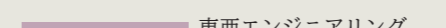

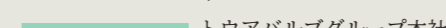
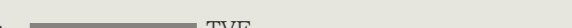


# 年表

	太田工業商會		トウアサービス
	虫印バルブ製作所		東亜バルブエンジニアリング
	虫印バルブ製造		高田製鋼所
	東亜バルブ		東亜バルブ高田製鋼所⇒現伊賀工場
	東亜機材		TOA VALVE OVERSEAS
	東亜エンジニアリング		TVE GLOBAL ASIA PACIFIC
	トウアバルブグループ本社		TVE

西暦	和暦	月	日	当社事項	月	一般事項
1922	大正 11	3	10	太田工業商會：太田常太郎が大阪市西区に太田工業商會を創業	—	電灯使用普及率 70%
		3	—	太田工業商會：バルブ・コック・スチームトラップ製造販売		
1932	昭和 7	11	—	太田工業商會：大阪市福島区大開町に移転し、(合) 虫印バルブ製作所に改称。海軍より指定工場として高級バルブの特命を受ける	4	第 1 回日本ダービー“東京優駿大競走”開催
1934	昭和 9	12	—	虫印バルブ製作所：佃工場建設に着手	9	室戸台風が関西に上陸(死者 2,500 人)
1939	昭和 14	6	1	虫印バルブ製作所：発起人 7 人で会社設立を計画 (太田常太郎、藤本列治、石村政一、寺田宗一、坂口賢市、藤井範治、笹倉敏郎)	9	第 2 次世界大戦勃発
1940	昭和 15	4	18	虫印バルブ製造：1940 年 4 月 5 日会社設立につき同年同月 18 日大阪区裁判所に設立申請、登記完了	10	大政翼賛会発足
1941	昭和 16	—	—	虫印バルブ製造：野里工場、千船工場操業	12	日本軍がハワイ真珠湾を攻撃、太平洋戦争勃発
		—	—	虫印バルブ製造：事業の伸展により工場が狭隘になり、尼崎市水堂に約 1 万坪の土地を買収。多量生産計画の下に理想的バルブ工場を建設	12	呉海軍工廠で戦艦“大和”竣工 (6 万 9,100 トン)
1942	昭和 17	4	1	虫印バルブ製造：厚生大臣より労務調整令第 2 条第 1 項前段の規定により指定される	2	大日本婦人会結成
		5	16	虫印バルブ製造：立花工場および佃工場は海軍大臣より何れも海軍管理工場に下命を受ける	4	帝国石油設立
		5	—	虫印バルブ製造：資本金 250 万円に増資、東亜バルブ(株)に改称	4	第 21 回衆議院議員選挙 (翼賛選挙)
		9	2	東亜バルブ：海軍購買名簿に登録の旨の通知を受ける	6	ミッドウェー海戦
1943	昭和 18	—	—	東亜バルブ：大阪市西淀川区野里町に新たに約 600 坪の工場を買収	8	金属回収令で寺院の仏具・釣り鐘などを強制供出
		1	21	東亜バルブ：商工大より重要機械製造事業法による高圧弁製造許可の指令を受ける	2	日本軍、ガダルカナル島から撤退開始
		2	20	東亜バルブ：厚生大臣より当社立花工場は労務調整令第 2 条第 1 項前段の規定により指定される	3	鉄鋼、石灰、軽金属、船舶、航空機が 5 大重点産業に指定される
		4	—	東亜バルブ：業務拡大の目的で東京丸の内に東京事務所開設	3	金属回収本部設置、金属回収運動をさらに強化
		5	4	東亜バルブ：商工大より当社佃、立花工場は重要工場調整規則第 1 条第 3 項の規定により指定される	6	工場就業時間制限令廃止。婦女子、年少者の鉱山坑内における作業を許可
		10	15	東亜バルブ：厚生大臣より立花工場は工場法戦時特例第 2 条の規定により指定される	12	学徒兵入隊 (学徒出陣)
		11	11	東亜バルブ：臨時株主総会開催。1. 資本金 250 万円を 500 万円に資本増加の件、2. 定款第 6 条、第 3 条変更の件、について承認可決		
1944	昭和 19	—	—	東亜バルブ：総理大臣東条英機が佃工場を視察		
		2	—	東亜バルブ：資本金 500 万円に増資	2	厚生年金保険法公布
		4	26	東亜バルブ：取締役太田常太郎、生産責任者に就任	6	北海道洞爺湖畔で大噴火、新山出現 (昭和 新山と命名)
		4	—	東亜バルブ：軍需工場に指定される	7	東条英機内閣総辞職
		6	—	東亜バルブ：滋賀県に水口工場を建設	8	学童疎開
		9	15	東亜バルブ：厚生大臣より佃工場は工場法戦時特例第 2 条の規定により指定される	12	東南海地震発生 (M7.9)
1945	昭和 20	10	4	東亜バルブ：大阪市北区角田町 41 番地に本社を移転		
		—	—	東亜バルブ：戦況の苛烈化に伴い艦艇用弁並びに航空燃料装置用弁の需要が激増し、生産増強が必然的に大使命となる		
		—	—	東亜バルブ：市岡工場操業	1	東海地方大地震 (死者 1,961 人)
		3	—	東亜バルブ：市岡工場が戦災で全焼	3	東京大空襲
		6	—	東亜バルブ：佃工場が戦災で全焼	8	広島に原爆投下
8	15	東亜バルブ：軍需会社の指定が取り消され、軍需会社法による生産責任者に代わり太田常太郎を取締役会で代表取締役を選任	8	長崎に原爆投下		

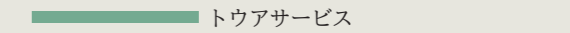
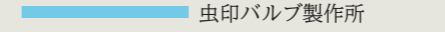
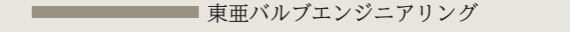
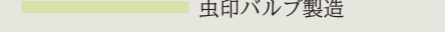
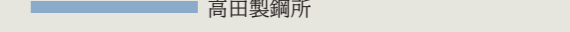
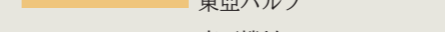
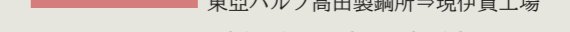
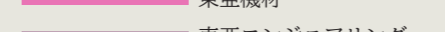
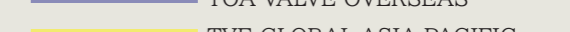
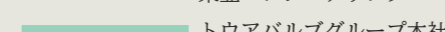
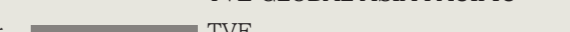
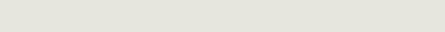
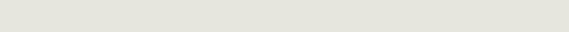
西暦	和暦	月	日	当社事項	月	一般事項
		9	—	東亜バルブ：工場閉鎖、残務要員を残して解散	8	ポツダム宣言を受諾 (終戦)
		9	—	東亜バルブ：残務要員にて会社再建へ	9	枕崎台風が西日本に上陸 (死者、行方不明 2,400 人)
1946	昭和 21	3	—	東亜バルブ：多年の研究成果である耐酸アルカリ性金属に「トオアロン」、濃硫酸製造用特殊材に「コオプロン」と命名し、各種ポンプ並びに弁嘴類の製造に力を発揮。人造肥料、化学工業金属精錬工場、人造絹糸工業方面に多大に貢献	2	金融緊急措置令公布・施行により新円切り換え開始
		9	—	東亜バルブ：労働組合結成	8	経済団体連合会 (経団連) 創設
		9	—	東亜バルブ：大阪市北区の阪神ビル (現阪神百貨店) に本社を移転	11	日本国憲法公布
		1	—	東亜バルブ：ラモントボイラ設置、初試験	1	帝銀事件
1948	昭和 23	10	—	東亜バルブ：認可の企業再建整備計画に基づき資本金を 350 万円に減資	5	パレスチナ戦争 (第 1 次中東戦争) 勃発
		2	—	東亜バルブ：水口工場および野里工場閉鎖、立花工場へ集中	4	1 ドル= 360 円の単一為替レート実施
1949	昭和 24	8	—	東亜バルブ：丸の内商事(株) (三菱商事(株)) と委託販売契約を締結	12	湯川秀樹がノーベル物理学賞を受賞
		12	—	東亜バルブ：資本金 1,050 万円に増資	6	朝鮮戦争勃発
1950	昭和 25	12	—	東亜バルブ：本社 (阪神ビル) を立花工場に移転	1	NHK 第 1 回紅白歌合戦放送開始
1951	昭和 26	2	—	東亜バルブ：通産省より陸用蒸気ボイラ用ばね式安全弁が日本工業規格 (JIS) の表示を認可される	9	日米安全保障条約調印
		3	—	東亜バルブ：不二商事(株) (三菱商事(株)) と委託販売契約を締結	4	鳥取大火 (焼失 5,228 戸)
1952	昭和 27	8	—	東亜バルブ：運輸省より高温高圧安全弁および弁座材料研究に、科学応用研究補助金 50 万円を交付される	5	白井義男が日本人初のボクシング世界フライ級チャンピオンになる
		1	—	東亜バルブ：労働省より汽缶用安全弁が認定される	2	NHK テレビの本放送開始
1953	昭和 28	2	—	東亜バルブ：資本金 1,312 万 5,000 円に増資	3	吉田茂内閣解散 (バカヤロー解散)
		4	—	東亜バルブ：資本金 2,100 万円に増資	3	中国からの引き揚げ再開
		8	—	東亜バルブ：通産省より応用研究補助金として 85 万円を交付される	7	朝鮮休戦協定に調印
		10	—	東亜バルブ：大阪地区店頭株式公開	—	街頭テレビ、店頭テレビ大人気
1954	昭和 29	12	4	東亜バルブ：アメリカで特許出願中の安全弁に対し登録査定される		
		3	4	東亜バルブ：日本工業規格 (現日本産業規格) 船用鍛造鋼玉形アングル弁類の表示許可申請に対し運輸大臣より許可番号 AC-14 号で許可される	3	ビキニ環礁付近で操業中の第 5 福竜丸、米水爆実験により被災
		3	26	東亜バルブ：米国特許出願中の安全弁における主弁及弁座の改良に対し、登録査定される	4	大阪で第 1 回日本国際見本市開催
		3	31	東亜バルブ：昭和 28 年度鉱工業技術研究補助金交付申請に対して通商産業大臣より 85 万円を交付される	4	第 1 回全日本自動車ショー (現東京モーターショー) が東京・日比谷公園で開催
		3	—	東亜バルブ：運輸省より船用鍛造玉型およびアングル弁類が JIS 表示を認可される	9	洞爺丸転覆 (死者、行方不明 1,183 人)
		7	—	東亜バルブ：三菱商事(株) と委託販売契約を締結	—	高圧バルブ需要の大手筋に悪条件が続出し、バルブ業界の売り込み競争が一段と激化
		8	31	東亜バルブ：アメリカ特許出願中のスチームトラップが意匠出願として公告決定される	—	電気洗濯機、冷蔵庫、掃除機 (のち白黒テレビ) が「三種の神器」と呼ばれる
		7	21	東亜バルブ：先にイギリス特許庁に出願中の安全弁が登録査定される	5	九州電力(株)が日本初のアーチ式ダム (9 万 kw) 上椎葉発電所運転開始
1955	昭和 30	10	—	東亜バルブ：労働組合、総評全国金属労働組合に加盟	8	ソニーが初のトランジスタラジオ発売
1956	昭和 31	7	17	東亜バルブ：米国特許安全弁に対し登録番号第 2754842 号と決定する	5	原子力 3 法公布

	太田工業商會		トウアサービス
	虫印バルブ製作所		東亜バルブエンジニアリング
	虫印バルブ製造		高田製鋼所
	東亜バルブ		東亜バルブ高田製鋼所⇒現伊賀工場
	東亜機材		TOA VALVE OVERSEAS
	東亜エンジニアリング		TVE GLOBAL ASIA PACIFIC
	トウアバルブグループ本社		TVE

西暦	和暦	月	日	当社事項	月	一般事項
		8.	—	東亜バルブ：資本金 4,200 万円に増資	6	日本原子力研究所（原研）発足
		—		東亜バルブ：発電六カ年計画に基づき当期中の受注額が激増。生産出荷額ともに当社の新記録を達成	10	大阪・新世界の通天閣が再建、開業
					11	メルボルンオリンピック開幕。日本は体操など 4 種目で金メダル獲得
1957	昭和 32	1.	—	東亜バルブ：資本金 5,000 万円に増資	8	東海村の原子力研究所で日本初の「原子の火」が灯される
1958	昭和 33	3.	—	東亜バルブ：汽缶用安全弁性能認定の更新を許可される	3	世界最初の海底道路、関門国道トンネル開通式
		11.	—	東亜バルブ：創業者太田常太郎、日本初の高温高压蒸気用安全弁の発明・研究改良、かつ永年の功績に対し、兵庫県科学技術賞を受賞	5	テレビ受信契約 100 万台突破
		12.	—	東亜バルブ：創業者太田常太郎、船舶および火力発電用の弁体弁座の研究と高温高压用安全弁の発明に対し、紫綬褒章を受章	12	東京タワー完成（高さ 333m）
1959	昭和 34	8.	—	東亜バルブ：資本金 1 億円に増資	4	皇太子ご成婚
1960	昭和 35	7.	—	東亜バルブ：創業者太田常太郎、海軍功勞により運輸大臣賞を受賞	9	カラーテレビ本放送開始
		9.	—	東亜バルブ：フィッシャーガバナー社と技術提携した東京機器工業㈱の依頼により、バルブ部門の生産を担当	10	浅沼稻次郎社会党委員長、刺殺される
1961	昭和 36	4.	—	東亜バルブ：資本金を 1 億 5,000 万円に増資	4	ソ連が人類初の有人宇宙飛行に成功
		9.	—	東亜バルブ：スルザー製モノチューブボイラをテスト用ボイラとして輸入設置	8	東ドイツがベルリンの壁を構築
		10.	—	東亜バルブ：大阪証券取引所市場第二部に株式上場	9	第 2 室戸台風が近畿に上陸（死者 202 人、被害家屋 98 万戸）
1962	昭和 37	4.	1	東亜バルブ：再評価積立金の一部金 1,350 万円を資本に組み入れる	2	東京の常住人口が推計で 1,000 万人突破、世界最初の 1,000 万都市となる
		4.	—	東亜バルブ：資本金 3 億円に増資	3	テレビ受信契約 1,000 万台突破
		—		東亜バルブ：日本初国産の「主蒸気塞止弁」を東北電力㈱仙台火力発電所に納入		
1963	昭和 38	4.	—	東亜バルブ：資本金 5 億円に増資	1	フジテレビが国産アニメーション第 1 号「鉄腕アトム」放送開始
1964	昭和 39	12.	—	東亜バルブ：東亜寮（旧・第一事務所）竣工	6	新潟地震（M7.5、地割れ、津波発生）
1965	昭和 40	11.	—	東亜バルブ：創業者太田常太郎、バルブの発明考案ならびに永年のバルブ業界における功績に対し、勲三等に叙せられ瑞宝章を受章	11	東海発電所が日本初の 5,000kw の営業用発電に成功
1967	昭和 42	2.	—	東亜バルブ：東亜機材㈱を設立	10	動力炉・核燃料開発事業団（動燃）発足
		6.	12	東亜バルブ：米国石油学会より石油精製用バルブの中スタンダード 600 規格の全てに対して API 表示の許可を得る	—	バルブ業界は好調な需要により、近來にない好況に恵まれる
1968	昭和 43	5.	—	東亜バルブ：科学技術庁より原子力平和利用研究費補助金 184 万円を交付される	9	種子島宇宙センター、初のロケット打ち上げ成功
		—		東亜バルブ：一部木造工場改築工事を施工	12	東京府中市で 3 億円強盗事件
1969	昭和 44	5.	—	東亜バルブ：科学技術庁より原子力平和利用研究費補助金 375 万円を交付される	1	機動隊、東大安田講堂にたてこもる学生を武力排除（安田講堂事件）
		—		東亜バルブ：通産省より要望のあった企業経営基盤強化対策の一環で当社を含む 3 社が日本バルブ工業第一グループを結成、協業体制を確立	6	日本初の原子力船“むつ”進水式
		—		東亜バルブ：中型弁機械工場、鋼材工場、木型工場の新設、大型弁機械工場の一部増設並びに大型横中ぐり盤、開先専用機を含む十数台の工作機械の増設を完了	7	米アポロ 11 号が月面に着陸、アームストロング船長ら 2 人が月に人類初の第 1 歩を標す
		—		東亜バルブ：国産初商業用原発の敦賀 1 号（BWR）、美浜 1 号（PWR）に弁類を納入し、大阪万博への電力供給に貢献		
1970	昭和 45	4.	—	東亜バルブ：創立 30 周年慰安会（三重県鳥羽）	3	日本万国博覧会開催

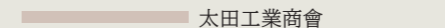
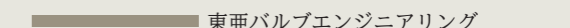
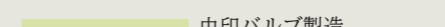

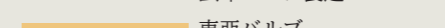
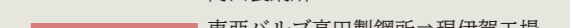

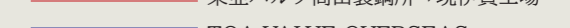
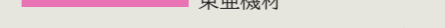
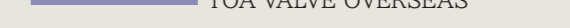
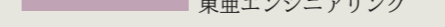
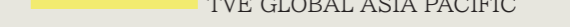
西暦	和暦	月	日	当社事項	月	一般事項
		10.	—	東亜バルブ：原子炉・核燃料開発事業団と「口径 300mm 調整弁の委託研究ならびに製作等請負」に関する契約を締結	3	大阪・新御堂筋が全面開通
		11.	—	東亜バルブ：スイスのスルザー・ブラザーズ社と「火力および原子力発電プラント用自動調整弁高温高压弁に関する技術提携」を締結	3	八幡、富士両製鉄が合併。新日本製鉄発足
		11.	—	東亜バルブ：創業者太田常太郎が会長、後任として高橋健助が社長に就任	3	日航機「よど号」が赤軍派学生 9 人にハイジャックされる（よど号ハイジャック事件）
		—		東亜バルブ：機械工場、ホワイトルームの新設などの大型設備投資を行う	9	米上院が大気汚染防止法案（マスキー法）を可決
1971	昭和 46	4.	1	東亜バルブ：株式公開のため、120 万株の公募増資を行った結果、資本金 5 億 6,000 万円となる	7	環境庁発足
		4.	—	東亜バルブ：東京証券取引市場第二部に株式上場	8	ニクソン米大統領がドル防衛策を発表（ドル・ショック）
		6.	—	東亜バルブ：通産産業大臣より高压ガス取締法、液化石油ガス保安規則の規定による第二種認定試験者として認定される	8	大蔵省が変動相場制を採用
		10.	16	東亜機材：バルブ製品の一部販売業務を行っていたが解散を決議（1972 年 3 月 25 日清算決了）	10	輪島功一がプロボクシング世界ジュニアミドル級タイトルマッチで日本初タイトル獲得
		12.	—	東亜バルブ：動力炉・核燃料開発事業団と「口径 550mm 電動式仕切弁の委託研究ならびに製作等請負」に関する契約を締結		
1972	昭和 47	3.	—	東亜バルブ：新会社日本フィッシャー㈱が設立され、同社との業務提携で火力・原子力分野での自動調整弁の製造を全面的に当社が担当	1	グアム島のジャングルで、太平洋戦争生き残りの元日本兵・横井庄一氏発見
1973	昭和 48	5.	—	東亜バルブ：高橋健助社長が相談役に、太田保則が社長に就任	2	円が変動相場制に移行（1 ドル = 277 円で開始）
		8.	—	東亜バルブ：動力炉・核燃料開発事業団と「口径 400mm 電動式バタフライ弁の委託研究ならびに製作等請負」に関する契約を締結	3	小松左京著『日本沈没』刊、この年のベストセラーになる
		8.	—	東亜バルブ：PWR 原発（玄海 1 号）に国産初の「加圧器安全弁」を納入	10	第 4 次中東戦争勃発
		—		東亜バルブ：新製品開発部門新設	10	第 1 次石油ショック
		—		東亜バルブ：試作実験を好成績のうちに完了し、国産化の決定をみた火力発電用「電磁式逃し弁」の実用機を製作納入	12	江崎玲於奈がノーベル物理学賞を受賞
		—		東亜バルブ：スイスのスルザー・ブラザーズ社との技術提携契約に基づき、製作販売を開始したボイラ用自動調整弁 2 プラント分を納入完了		
		—		東亜バルブ：原子炉の格納容器に取り付けられる「真空破壊弁」の開発実用化に成功		
1974	昭和 49	6.	—	東亜バルブ：高橋健助相談役（元・社長）逝去	8	東京丸の内の三菱重工で時限爆弾爆発（死者 8 人、重軽傷者 376 人）
		9.	17	東亜エンジニアリング：会社設立登記 資本金 / 500 万円（1 万株） 決算期 / 毎年 9 月 30 日 本社 / 神戸市生田区（現中央区）北長狭通 6-3-3 フジモト神戸ビル 7 階 役員 / 代表取締役・太田保則（非常勤）、取締役・水口敬三（非常勤）、常務取締役・谷田定雄、監査役・杠隆雄（非常勤）	9	原子力船「むつ」放射能もれ事故
		11.	9	東亜エンジニアリング：美浜発電所見学を兼ねて、第 1 回慰安旅行（三方五湖、常神岬）	12	佐藤栄作元首相がノーベル平和賞を受賞
		12.	—	東亜エンジニアリング：東亜バルブより営業業務の引き継ぎ開始	—	経済実質成長率マイナス 0.5%、戦後初のマイナス成長



	太田工業商會		トウアサービス
	虫印バルブ製作所		東亜バルブエンジニアリング
	虫印バルブ製造		高田製鋼所
	東亜バルブ		東亜バルブ高田製鋼所⇒現伊賀工場
	東亜機材		TOA VALVE OVERSEAS
	東亜エンジニアリング		TVE GLOBAL ASIA PACIFIC
	トウアバルブグループ本社		TVE

西暦	和暦	月	日	当社事項	月	一般事項
1975	昭和50	1	18	東亜エンジニアリング：資本金 2,000 万円に増資	3	山陽新幹線開業（岡山－博多間）、東京－博多間が全通
		3	5	東亜エンジニアリング：東京都千代田区神田須田町 1-28-2 タイムビル 7 階に東京事務所開設（男子 2 人、女子 1 人、営業範囲は静岡以東）	4	ベトナム戦争終結
		4	—	東亜バルブ：関西電力㈱総合技術研究所と「原子力用バルブのグランドパッキンに関する研究」の共同研究契約を締結	7	沖縄国際海洋博覧会開幕
		5	14	東亜エンジニアリング：資本金 3,000 万円に増資	11	第 1 回主要先進国首脳会議（サミット）がフランスのランブイエ城で開催
		5	—	東亜バルブ：創業者太田常太郎逝去（社葬）	11	大阪空港公害訴訟控訴審で原告全面勝訴、午後 9 時以降の飛行禁止に
		7	16	東亜エンジニアリング：資本金 4,500 万円に増資	12	東京・府中で起きた 3 億円事件の時効成立
		9	—	東亜エンジニアリング：明石サービスセンター開設、管理業務を明石興業に委託		
		9	—	東亜バルブ：立体自動倉庫竣工		
		10	—	東亜エンジニアリング：第 2 回慰安旅行（東京と合同で北陸、東尋坊）		
		11	—	東亜バルブ：IBM システムコンピューター 3/ モデル 8 導入		
		12	26	東亜エンジニアリング：管工事業として建設業許可を受ける（大臣許可（般-50）第 6688 号）		
		1976	昭和51	5	—	東亜エンジニアリング：神戸市垂水区霞ヶ丘に垂水寮開設（男子用、賃貸）
6	1			東亜エンジニアリング：東京事務所を支店に昇格	2	政府高官による贈賄、ロッキード事件発覚
7	—			東亜エンジニアリング：明石サービスセンター安全弁テスト設備完成	2	インスブルック冬季オリンピック開幕
8	—			東亜バルブ：米国機械学会 (ASME) .N スタンプサーベイ（合格）	5	植村直己、1 万 2,000km 北極圏犬ぞりひとり旅に成功
10	—			東亜エンジニアリング：若狭出張所（浜岸旅館内・仮設）開設	7	南北ベトナムが統一し、ベトナム社会主義共和国誕生
10	—			東亜エンジニアリング：定検工事のため高浜臨時事務所（三菱高浜事務所内・仮設）開設	7	モントリオールオリンピック開幕
10	—			東亜バルブ：米国機械学会 (ASME) より「N・NPT・NV・V・UV スタンプ」を認定される	11	公正取引委員会、小形棒鋼の不況カルテル認可
11	8			東亜エンジニアリング：明石サービスセンターで東海 2 号発電所向け安全弁のテスト開始		
1	—			東亜エンジニアリング：営業部営業課に管理係新設。TOA より外注管理、材料手配、工具管理業務を引き継ぐ	4	日本初の高速増殖実験炉“常陽”が臨界に到達
2	—			東亜エンジニアリング：関西電力㈱高浜発電所 2 号 1 次系大型弁・安全弁の定検工事を初受注、放射線管理業務を開始	7	日本初の静止気象衛星ひまわり 1 号打ち上げ
5	—	東亜エンジニアリング：福井県大飯郡高浜町東三松に若狭出張所移転	8	北海道洞爺湖畔の有珠山が 32 年ぶりに噴火		
6	—	東亜バルブ：第 1 次合理化提案	9	巨人軍・王貞治選手が 756 号の本塁打世界記録を達成		
9	13	東亜エンジニアリング：関西電力㈱高浜および美浜発電所内に高浜作業所、美浜作業所開設、定期検査時のみ駐在	—	1977～1979 年に造船・電力の受注急減のため、TOA 人員を 570 人から 365 人に削減		
10	20	東亜エンジニアリング：取締役会で太田保則代表取締役が非常勤取締役、谷田定雄常務取締役が代表取締役に就任				
10	—	東亜バルブ：超臨安全弁の開発に着手				
11	—	東亜エンジニアリング：社宅制度新設、入居者募集開始。神戸市垂水区、尼崎市稲葉荘、明石市二見町にマンション購入				

西暦	和暦	月	日	当社事項	月	一般事項		
1978	昭和53	2	—	東亜エンジニアリング：定款変更、原子力発電所における放射線管理業務を追加	1	伊豆大島近海地震発生（M7.0）		
		3	—	東亜バルブ：NC ボーリング 1 号機導入	3	初の国産発電用原子炉である動力炉核燃料事業団の ATR「ふげん」運転開始		
		5	—	東亜バルブ：第 2 次合理化提案	5	新東京国際空港（成田空港）開港		
		5	—	東亜エンジニアリング：宝塚寮改装完了、希望者入居開始、垂水寮廃止	6	宮城沖地震（M7.4、死者 28 人、負傷者 1,227 人）		
		7	—	東亜エンジニアリング：放射線従事者中央登録センターに放射線管理手帳発行機関として登録	8	北京で日中平和友好条約調印		
		8	—	東亜バルブ：大型加圧器安全弁開発	12	OPEC、原油価格の段階的値上げ決定		
		10	—	東亜エンジニアリング：明石サービスセンターで関西電力㈱美浜発電所 3 号の安全弁等 2 次系バルブ（放射能汚染なし）の引き取り修理開始				
		12	—	東亜バルブ：(財)電力中央研究所と「原子力発電用バルブの漏洩防止」の共同研究に関する契約を締結				
		1979	昭和54	1	—	東亜エンジニアリング：水口敬三非常勤取締役（当時の TOA 常務取締役）が取締役会長に就任	1	共通一次学力試験開始
				2	—	東亜バルブ：第 3 次合理化提案	1	第 2 次石油ショック
				3	15	東亜エンジニアリング：明石サービスセンターの土地の一部 691㎡を明石興業に売却	3	米ペンシルベニア州スリーマイル島 TMI で運転事故発生、放射性物質が外部に放出
				6	—	東亜バルブ：動力炉・核燃料開発事業団と「日独仏高速炉協力協定に基づく交換技術情報の取扱い」に関する契約を締結	5	ガソリンスタンドの日曜・祝日全面休業を実施
10	31			東亜エンジニアリング：大飯作業所開設	6	第 5 回先進国首脳会議（東京サミット）開催		
11	—			東亜バルブ：東京電力㈱、㈱日立製作所、東京芝浦電気㈱と「BWR 用主蒸気逃し安全弁の信頼性向上に関する研究」の共同研究実施に関する契約を締結	10	木曾御岳山が有史以来の初噴火		
12	—			東亜バルブ：ASME, N・NPT・NV スタンプ更新	11	東京で第 1 回国際女子マラソン開催		
12	—			東亜バルブ：原子力工学試験センター磯子工学試験所で東亜バルブ製原子力用バルブの信頼性実証試験を開始				
1980	昭和55			4	—	東亜バルブ：NC ボーリング 2 号機導入	4	中国が IMF（国際通貨基金）に加盟
				6	—	東亜バルブ：ASME, V・UV スタンプ更新	4	政府がモスクワオリンピック不参加を発表
				8	—	東亜エンジニアリング：関西電力㈱高浜・美浜・大飯発電所の各作業所を正式に開設	5	姫路地区火力発電所定検工事（機械）、関電興業統括請負業者となる
				8	—	東亜エンジニアリング：九州電力㈱玄海発電所作業所開設	6	史上初の衆参両院同日選挙実施
		9	8	東亜エンジニアリング：京都府舞鶴市、東和工業ビル 4 階に舞鶴事務所（仮設）開設、転居用者の社宅・寮を準備	12	元ビートルズのジョン・レノンが自宅前でファンに射殺される		
		10	—	東亜バルブ：合金工場閉鎖、炉火止め式				
		1981	昭和56	4	—	東亜バルブ：福島出張所（東京事務所扱い）開設	3	神戸ポートアイランド博覧会「ポートピア'81」開幕
				6	30	東亜エンジニアリング：若狭出張所閉鎖	3	公務員週休 2 日制開始
				7	8	東亜バルブ：第 1 回小集団活動発表会開催	5	京都市営地下鉄烏丸線開業
				7	—	東亜バルブ：NC 旋盤 1 号機導入	8	香川県の電源開発㈱仁尾太陽熱試験発電所がタワー集光方式で世界発の 1,000kw 発電に成功
				7	—	東亜エンジニアリング：関西電力㈱美浜発電所（原子力）1 号の主冷却材隔離弁を初点検	8	東証、史上初の 8,000 円台に
				8	—	東亜エンジニアリング：舞鶴事務所開設	11	若狭地区原子力発電所定検工事（機械）、関電興業統括請負業者となる
8	—			東亜エンジニアリング：原子力船「むつ」の弁定検工事を受注				

	太田工業商會		トウアサービス
	虫印バルブ製作所		東亜バルブエンジニアリング
	虫印バルブ製造		高田製鋼所
	東亜バルブ		東亜バルブ高田製鋼所⇒現伊賀工場
	東亜機材		TOA VALVE OVERSEAS
	東亜エンジニアリング		TVE GLOBAL ASIA PACIFIC
	トウアバルブグループ本社		TVE

西暦	和暦	月	日	当社事項	月	一般事項
1982	昭和 57	12.	—	東亜バルブ：NC 旋盤 2 号機導入		
		1.	—	東亜エンジニアリング：組織変更。技術部より工事部門を分離、メンテナンス部新設。チーム制導入。放射線管理チーム編成	1	関西電力(株)で火力発電プラントのDSS化を推進
		2.	—	東亜バルブ：旧火造り工場火止め式	4	500 円硬貨発行
		4.	—	東亜バルブ：創立 60 周年記念行事慰安会(有馬グランドホテル)	6	東北新幹線開業（大宮—盛岡間、3 時間 17 分）
1983	昭和 58	7.	—	東亜バルブ：電力会社共同研究「加圧器安全弁吹出圧力検査方法信頼性向上に関する研究」	10	北炭夕張炭鉱閉山
		10.	—	東亜エンジニアリング：兵庫県労働基準局長努力賞受賞	11	上越新幹線開業（大宮—新潟間、2 時間 30 分）
		11.	—	東亜エンジニアリング：関西電力(株)高浜・美浜・大飯、九州電力(株)玄海の各作業所に常駐開始		
		1.	—	東亜バルブ：NC ボーリング 3 号機導入	3	中国自動車道全通（吹田—下関間）
		3.	—	東亜バルブ：NC ラジアルボール盤導入	4	東京ディズニーランド開園
		5.	—	東亜バルブ：自動帯鋸 2 号機正式導入	5	日本海中部地震（M7.7、死者 104 人）
		8.	31	東亜エンジニアリング：関西電力(株)原子力発電所の補修などに関わる「品質保証計画書」制定	6	原子力発電所の保守管理に関する技能認定制度設定
		9.	—	東亜バルブ：電力 PWR5 社との共同研究「弁座摺り合わせ装置の開発に関する研究」に富士電機(株)と共に参画し実施	7	任天堂がファミリーコンピュータ発売
		10.	—	東亜バルブ：従業員持株会発足（加入者 164 人）	9	大韓航空機墜落事件（死者 297 人）
		10.	—	東亜バルブ：柏崎出張所開設	10	三宅島雄岳が 21 年ぶりに大噴火
		10.	—	東亜バルブ：関西電力(株)総合技術研究所と「高温高压ドレン弁へのセラミックス材適用に関する試験研究」の共同研究契約を締結	10	関西電力(株)原子力訓練センター開設
1984	昭和 59	10.	—	東亜バルブ：インドBHEL 社（Bharat Heavy Electrical Limited）との技術提携		
		1.	—	東亜バルブ：インド BHEL 社と「高温高压弁に関する技術供与」の契約を締結	6	日本人の平均寿命、男女ともに世界一に
		2.	—	東亜バルブ：関西電力(株)と「弁修システムの開発に関する研究」の共同研究を実施	7	ロサンゼルスオリンピック開幕
		8.	—	東亜バルブ：富士通 FACOM M340S 導入	11	日本の人口が 1 億 2,001 万 7,647 人に
		9.	—	東亜バルブ：関西電力(株)の「原子力用ロボットに関する要素技術の調査研究」に(株)日立製作所と共に共同研究を実施	—	グリコ・森永事件。企業への脅迫、食品への毒物混入などが相次ぐ
1985	昭和 60	2.	—	東亜バルブ：太田保則社長逝去（59 歳）	3	青函トンネル貫通
		3.	—	東亜バルブ：故太田保則社長、社葬	6	本州四国連絡橋、大鳴門橋開通
		3.	—	東亜エンジニアリング：メンテナンス部第 4 チーム（九電担当）新設	8	日航機、群馬山中に墜落（死者 520 人、生存者 4 人）
		12.	—	東亜バルブ：川久保信行が社長に就任	11	阪神タイガースがプロ野球日本一に
1986	昭和 61	12.	—	東亜バルブ：東亜バルブ OB 会発足	11	関西電力(株)大飯発電所が岩手湾地震でトリップ、運転停止
		12.	—	東亜バルブ：電力 PWR5 社との共同研究「加圧器安全弁におけるルーブシールの影響に関する研究」に三菱重工業(株)と共に参画		
		2.	—	東亜バルブ：スイスのスルザー・ブラザーズ社と「火力および原子力発電プラント用自動調整弁高温高压弁に関する技術提携」の契約を更新し、10 年間延長	1	スペースシャトル“チャレンジャー”打ち上げ後爆発、7 人全員死亡
		4.	—	東亜バルブ：関西電力(株)の「弁座摺り合わせ装置・確認試験に関する研究」に富士電機(株)と共に共同研究を実施	4	男女雇用機会均等法施行
		4.	—	東亜バルブ：(財)電力中央研究所と「音響法により弁内部漏洩監視装置の開発」の共同研究契約を締結	4	旧ソ連チェルノブイリ発電所で事故発生、蒸気爆発を起こし放射性物質が外部に拡散
		6.	—	東亜バルブ：食堂に空調設備設置	6	上野動物園でパンダの赤ちゃん誕生

西暦	和暦	月	日	当社事項	月	一般事項
1987	昭和 62	9.	29	東亜エンジニアリング：第 13 回定時株主総会で川久保信行（TOA 取締役社長）が取締役会長に就任、水口敬三取締役会長が顧問に就任	9	7 カ国蔵相会議（G7）初会合
		9.	—	東亜バルブ：関西電力(株)の「故障物理による機器の点検周期の検討に関する研究（弁関係）」を三菱重工業(株)と共に受託し、実施	10	関西電力(株)の火力発電所で工事監督者認定制度導入
		11.	—	東亜バルブ：原子力用次世代機器開発研究所（ANERI）の「インスペクションフリー設備開発確認試験」に参画	11	伊豆大島の三原山が 209 年ぶりに大噴火
		12.	—	東亜バルブ：CAD 導入、テープカット		
1988	昭和 63	1.	—	東亜バルブ：中国秦山原発 1 号に一次系・二次系一般弁を納入	4	114 年余の歴史の国鉄が分割・民営化で JR としてスタート
		1.	—	東亜バルブ：北海道電力(株)泊作業所開設	5	電気事業法の改正により火力発電所の運転期間が、暫定措置としてボイラー 1 年→1 年半、タービン 1 年半→2 年に延長
		3.	—	東亜エンジニアリング：若狭原子力事務所廃止、高浜作業所に統合	7	世界の人口が 50 億人を突破
		3.	—	東亜バルブ：プラズマ粉体溶接機導入	9	東北自動車道と首都高速自動車道路が連結、青森—熊本間 2,002km 貫通
		3.	—	東亜バルブ：NC 旋盤 3 号機導入	10	NY 株式市場大暴落（ブラックマンデー）
		4.	—	東亜バルブ：関西電力(株)総合技術研究所と「原子力バルブに関する研究のうち、ウルトラハイシールバルブの確証試験研究」の共同研究契約を締結	—	日米貿易摩擦深刻化
		6.	—	高田製鋼所：伊賀上野に新工場の建設・移転準備開始		
		9.	—	東亜バルブ：NC ボーリング 4 号機導入		
		10.	—	東亜バルブ：営業部に若狭地区駐在所新設		
		8.	—	東亜バルブ：無災害記録、100 万時間達成	3	東京ドーム竣工式
		9.	—	東亜バルブ：電算機、富士通 FACOM M760 導入	4	世界最長の鉄道併用橋、瀬戸大橋開通
10.	—	東亜バルブ：福島出張所開所式	7	東亜エンジニアリング：日本バルブ工業会に入会		
1989	平成元	10.	—	東亜バルブ：現地弁座交換機ならびに溶接機の自主開発に着手	9	三菱重工業(株)と東亜バルブが共同開発中の原子力発電所主蒸気安全弁テスト用 MS-SPEED 完成
		12.	—	東亜バルブ：現地弁座交換機を用い、関西電力(株)姫路第二発電所 5 号の工事を施工		
		1.	27	東亜エンジニアリング：創立 15 周年記念パーティ開催（神戸ポートピアホテル）	1	昭和天皇崩御、平成に改元
		1.	—	東亜エンジニアリング：美浜・丹生地区倉庫設置	2	昭和天皇の大喪の礼、164 カ国 28 国際機関の代表が参列
		3.	—	東亜バルブ：電動弁自動診断装置「TACS」の自主開発に着手	4	消費税 3%導入
		5.	12	東亜エンジニアリング：創立 15 周年記念旅行（沖縄へ 2 泊 3 日、2 班に分かれて実施）	9	日米経済構造協議開始
		6.	—	高田製鋼所：新工場火入れ式	9	横綱千代の富士関が国民栄誉賞を受賞
		7.	—	東亜バルブ：子会社ティー・エス・ケー(株)設立	11	「ベルリンの壁」取り壊し、国境解放
		10.	—	東亜バルブ：「主蒸気安全弁吹出し圧力自動検査装置」を関西電力(株)高浜発電所に国内初納入		
		10.	—	東亜エンジニアリング：TOA と共同開発の TACS 完成		
		11.	—	東亜エンジニアリング：千葉県市原市に千葉サービスセンター開設		
1990	平成 2	9.	—	東亜バルブ：FACOM/G150 端末機導入	4	国際花と緑の博覧会（花の万博）開幕
		9.	—	東亜バルブ：「TACS」1 号機、関西電力(株)に納入	6	天皇家の次男・礼宮文仁親王殿下と川嶋紀子さんご結婚

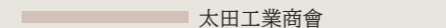
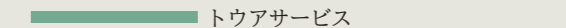
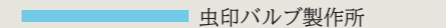
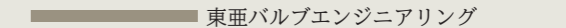
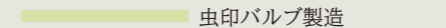
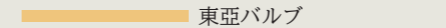
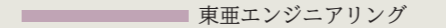


	太田工業商會		トウアサービス
	虫印バルブ製作所		東亜バルブエンジニアリング
	虫印バルブ製造		高田製鋼所
	東亜バルブ		東亜バルブ高田製鋼所⇒現伊賀工場
	東亜機材		TOA VALVE OVERSEAS
	東亜エンジニアリング		TVE GLOBAL ASIA PACIFIC
	トウアバルブグループ本社		TVE

西暦	和暦	月	日	当社事項	月	一般事項
		11.	—	東亜バルブ：マシニングセンタ1号機、1機導入	11	長崎県の雲仙岳の最高峰・普賢岳が約200年ぶりに噴火
		12.	—	東亜エンジニアリング：京葉サービスセンター内に京葉営業所開設、鶴見倉庫機能統合（～1996年8月）	—	バルブ業界は住宅建設および産業設備投資の活況並びに造船業界の復調の影響を受け、1989年度は過去最高の生産を達成
		—	—	東亜バルブ：インドのパハラット・ヘビーエレクトリカルズ社と高温高圧弁の製造技術の供与に関して技術提携を行う		
1991	平成3	6.	—	東亜バルブ：第1機械工場のクーラー稼働	1	米軍を主体とする多国籍軍、イラク軍に対する軍事力行使に踏み切る
		7.	—	東亜バルブ：CAD電算機 M770-4 導入	2	関西電力備後発電所2号機で蒸気発生器伝熱管損傷事故発生、緊急炉心冷却装置作動
		12.	—	東亜バルブ：柏崎出張所新設移転	5	高速増殖炉「もんじゅ」（出力28万kw）試運転開始
		—	—	東亜バルブ：スイスのスルザー・ブラザーズ社とコントロールバルブの製造技術導入に関して技術提携を行う	6	東北・上越新幹線が東京駅に乗り入れ
		—	—	東亜バルブ：横型マシニングセンターに設備投資		
1992	平成4	3.	—	東亜エンジニアリング：九州電力備後発電所内玄海作業所に常駐開始	3	東海道新幹線に「のぞみ」登場、東京—新大阪間が2時間半に
		3.	—	東亜エンジニアリング：社員の定着を図るため永年勤続者表彰制度を導入	7	山形新幹線開業（東京—山形間）
		10.	—	東亜バルブ：バルブ製造部 ISO9001 認証取得		
		12.	—	東亜バルブ：瀬崎行雄が社長に就任		
1994	平成6	6.	7	東亜エンジニアリング：20周年記念旅行（北海道、2班に分かれて実施）	7	製造物責任（PL）法公布
		9.	28	東亜エンジニアリング：第21回定時株主総会で川久保信行取締役会長、谷田定雄代表取締役社長、木曾一義監査役が辞任。瀬崎行雄非常勤取締役が取締役会長に、戸田正弘常任顧問が代表取締役社長に、三浦清次（TOA 監査役）が非常勤監査役に就任。20周年記念特別利益分配金支給、記念配当、普通6%+特別4%実施	9	関西国際空港開港
		11.	18	東亜エンジニアリング：「災害防止の努力」に対し兵庫県労働基準監督局より表彰	12	大江健三郎がノーベル文学賞を受賞
1995	平成7	1.	1	東亜エンジニアリング：社内報『TEK ニュース』創刊（年4回刊）	1	阪神・淡路大震災（M7.3）
		1.	17	東亜エンジニアリング：阪神・淡路大震災により本社業務3日間停止、以後1カ月間短縮業務。社員・家族に死傷者なし、ビルは小破	3	地下鉄サリン事件
		1.	23	東亜エンジニアリング：お客様宛てに震災報告の挨拶状発送、被災社員に見舞金支給	6	育児・介護休業法成立
		2.	—	東亜エンジニアリング：東京支店で川崎市に京浜パーツセンター開設（～1996年2月）	7	青森—鹿兒島間で高速道路全通（全長2,150km）
		3.	—	東亜エンジニアリング：作業所業務改革プロジェクトチーム発足	11	アジア太平洋経済協力会議（APEC）大阪会議開幕
		4.	—	東亜エンジニアリング：定年制、57歳を60歳に延長	11	マイクロソフト「Windows95」日本語版発売
		11.	22	東亜エンジニアリング：TEK 社長と協力会社社長との懇親会（TEK サミット）開催（長崎）	12	改正電気事業法施行
		11.	27	東亜エンジニアリング：港区三田の三田国際ビル23階に東京支店を移転	12	動力炉核燃料事業団の高速増殖炉「もんじゅ」でナトリウム漏洩事故
		12.	—	東亜エンジニアリング：姫路地区統括業務開始	—	東亜バルブ：国内需要の停滞と内外価格差による海外プラント用弁の価格低下および客先の海外調達拡大など一段と厳しさを増す

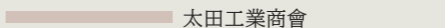
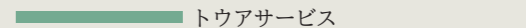
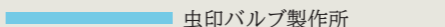
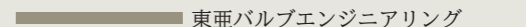
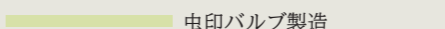
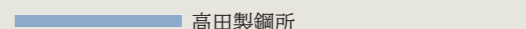
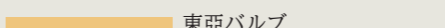
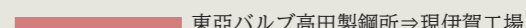
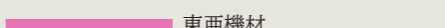

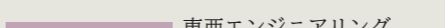

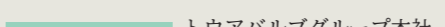
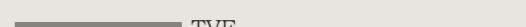
西暦	和暦	月	日	当社事項	月	一般事項
		—	—	東亜バルブ：スイスのスルザー・サーモテック社とコントロールバルブの製造技術の導入に関して技術提携		
1996	平成8	5.	—	東亜エンジニアリング：若狭プロジェクト発足	1	大手スーパー各社が元日営業を開始
		10.	31	東亜エンジニアリング：資本金9,000万円に倍額増資	2	将棋の羽生善治名人が史上初の7冠王に
		11.	—	東亜エンジニアリング：姫路地区統括業務のため、関西電力備後姫路2号発電所内に事務所開設	7	堺市の小学校で発生したO-157の集団食中毒が全国に拡散、厚生省が伝染病に指定
		11.	—	東亜エンジニアリング：三重県三重郡川越町に中部サービスセンター開設	7	アトランタオリンピック開幕
		—	—	東亜バルブ：ターニングセンター、自動鋼材切断機の設備投資、エンジニアリングセンターの事務所を建設	10	第41回総選挙（初の小選挙区比例代表並立制）
1997	平成9	1.	—	東亜エンジニアリング：TEK ニュースの愛称が「潮風」に決定	1	日本海でロシア船籍タンカー「ナホトカ号」遭難、重油流出
		1.	—	東亜エンジニアリング：明石サービスセンターに弁研修設備完成	1	東亜エンジニアリング：ナホトカ号重油流出回収作業に3協力が協力を
		6.	—	東亜エンジニアリング：若狭地区統括業務開始	4	消費税5%に引き上げ実施
		9.	29	東亜バルブ：山内恒美が備後高田製鋼所代表取締役社長を退任、神山毅が同社代表取締役社長に就任	12	温暖化防止京都会議開催
1998	平成10	4.	16	東亜エンジニアリング：和歌山地区統括業務開始	2	長野冬季オリンピック開幕
		4.	—	東亜エンジニアリング：TOAより転籍者4人受け入れ	4	明石海峡大橋竣工
		6.	—	東亜エンジニアリング：TOAへ出向者1人	6	サッカーW杯フランス大会開幕、日本初出場
1999	平成11	3.	—	東亜エンジニアリング：創立25周年記念旅行（グアム、2班に分かれて実施）	2	NTTドコモが「iモード」の通信サービス開始
		6.	21	東亜エンジニアリング：新社屋に移転、業務開始	9	茨城県東海村の民間核燃料処理工場で初の臨界事故発生、近隣住民に避難勧告
		12.	—	東亜バルブ：佐々木篤が社長に就任	12	コンピュータ2000年問題で官庁・企業などが警戒態勢
		—	—	東亜バルブ：自動溶接機（機械および装置）に設備投資		
2000	平成12	2.	—	東亜バルブ：APWR用主蒸気隔離弁（MSIV）確認試験研究終了（高性能主蒸気隔離弁開発）	1	ダイオキシン類対策特別措置法施行
		3.	15	トウアバルブグループ本社：株式上場	1	遺伝子組み替え作物に初の国際取引規制
		3.	15	東亜バルブ：株式上場廃止	4	介護保険制度施行
		3.	16	トウアバルブグループ本社：東亜バルブと東亜エンジニアリングが共同して株式移転により純粋持ち株会社、備後トウアバルブグループ本社を設立	4	総務庁発表、失業者数過去最多349万人
		4.	—	東亜エンジニアリング：中国電力備後三隅発電所1号機初回定検、TOA製バルブメンテナンス一括施工	5	トヨタ自動車の年間販売台数（ダイハツ含む）が世界で初めて500万台に
		5.	—	東亜バルブ：特高受電所設備更新	5	ストーカー規制法公布
		6.	30	高田製鋼所：東亜バルブの100%子会社となる	6	雪印乳業食中毒事件
		7.	—	東亜バルブ：マシニングセンター導入	7	金融庁発足
		8.	12	東亜バルブ：無償減資により、資本金が8億4,000万円から3億9,000万円減少し、4億5,000万円となる	7	西暦2000年と九州・沖縄サミットを記念して2000円札発行
		10.	1	高田製鋼所：高田粉末冶金（焼結金属による弱電・自動車などの部品の製造販売）を吸収合併する	8	新500円硬貨発行
		10.	—	東亜バルブ：第一事務所土地売却	9	シドニーオリンピック開幕
		11.	—	東亜エンジニアリング：ISO9001認証取得	12	白川英樹ら3氏がノーベル化学賞を受賞
		11.	—	東亜エンジニアリング：中国電力備後大崎発電所1号機運転開始、TOA製バルブメンテナンス一括施工		
2001	平成13	3.	—	トウアバルブグループ本社：TOA・TEK、営業譲渡契約調印	1	中央省庁再編、1府12省庁制へ



	太田工業商會		トウアサービス
	虫印バルブ製作所		東亜バルブエンジニアリング
	虫印バルブ製造		高田製鋼所
	東亜バルブ		東亜バルブ高田製鋼所⇒現伊賀工場
	東亜機材		TOA VALVE OVERSEAS
	東亜エンジニアリング		TVE GLOBAL ASIA PACIFIC
	トウアバルブグループ本社		TVE

西暦	和暦	月	日	当社事項	月	一般事項
		4.	—	東亜バルブ：メンテナンス事業統合のため、メンテナンス事業を東亜エンジニアリングに全面移管	3	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン開園
		7.	10	トウアサービス：無償減資により、資本金が6,000万円から1,000万円減少し、5,000万円となる	4	家電リサイクル法、JAS法、情報公開法施行
		8.	—	東亜バルブ：水島出張所開設（小月製鋼所水島出張所内）	4	三菱自動車、米クライスラー社と全面提携
		9.	—	東亜バルブ：TOA 東京支社、TEK 東京支店、新田町ビルに移転	9	東京ディズニーシー開園
		9.	—	東亜バルブ：ドイツのアルカ・レーグラ社と制御弁事業で業務提携	9	BSE（狂牛病）感染の疑いのある牛が国内で初めて発見される
		10.	—	東亜エンジニアリング：メンテナンス部を第1メンテナンス部としメンテナンスチームを新設	9	米国同時多発テロ
		10.	—	東亜エンジニアリング：第2メンテナンス部にメンテナンスチーム、柏崎出張所、福島出張所を新設（TOAより移管）	12	野依良治がノーベル化学賞を受賞
		—	—	東亜エンジニアリング：佐々木篤が代表取締役社長に就任	12	中国が世界貿易機関（WTO）に正式加盟
		—	—	東亜バルブ：（共同研究）改良型主蒸気隔離弁の実証試験研究		
2002	平成14	3.	—	東亜バルブ：中国電力㈱三陽発電所1号機に過去最大口径の低温再熱蒸気管止弁を納入	1	欧州単一通貨「ユーロ」の流通開始
		4.	—	東亜バルブ：技術専門職として初めて女性を採用	1	台湾がWTOに正式加盟
		4.	—	東亜バルブ：設立80周年記念	2	ソルトレークシティ冬季オリンピック開幕
		6.	—	東亜エンジニアリング：日本原子力発電敦賀発電所2号機の第12回定検を国内最短の25.5日で完了	3	JETROが20年ぶりに輸出振興政策再開
		9.	19	高田製鋼所：株主割当増資により資本金が1億円から2億5,000万円増加し、3億5,000万円となる	3	国土交通省発表の公示地価が11年連続下落
		10.	—	東亜エンジニアリング：第2メンテナンス部に柳井出張所、水島出張所、浜岡出張所を新設	4	学校が完全週休2日制に。ゆとり教育開始
		10.	—	トウアバルブグループ本社：シンガポールに子会社 TOA VALVE OVERSEAS (TVO) 設立	4	定期預金のペイオフ凍結解除
		12.	—	トウアバルブグループ本社：連結納税採用決定	5	経団連・日経連合併、日本経済団体連合会に
		12.	—	東亜バルブ：ドイツのドレモ社との業務提携により、制御弁事業室発足	5	日韓共催のサッカーW杯開幕
		12.	—	東亜バルブ：制御弁事業室発足	10	日本人拉致被害者5名帰国
		—	—	東亜バルブ：3ピース型および2ピース型ルーズバックシート弁（Eタイプ玉形弁）の開発	12	小柴昌俊がノーベル物理学賞、田中耕一がノーベル化学賞を受賞
		—	—	東亜バルブ：改善型ウェッジゲート弁（Hタイプ）の開発		
2003	平成15	2.	—	東亜エンジニアリング：尼崎市に本社を移転	4	日本郵政公社発足
		3.	6	高田製鋼所：無償減資により資本金が3億5,000万円から3億2,000万円減少し、3,000万円となる	4	日本鋼管と川崎製鉄が合併、JFEスチール誕生
		4.	—	トウアサービス：海水弁の販売開始	5	個人情報保護関連5法成立
		7.	—	東亜エンジニアリング：美浜・高浜・大飯出張所を統括する若狭事務所設置	7	国立大学法人法成立、10月施行
		7.	—	東亜エンジニアリング：苫小牧出張所設置	10	東海道新幹線に品川駅を新設
		9.	—	東亜エンジニアリング：TOAより泊出張所を移管	10	定期事業者検査制度施行
		10.	—	東亜バルブ：基幹システム（TOA-ERP）稼働開始	11	JR西日本でICOCA運用開始
		10.	—	東亜エンジニアリング：水島サービスセンター開設	12	アメリカで狂牛病（BSE）発生、輸入停止
		—	—	トウアバルブグループ本社：子会社3社の管理・間接部門である総務・経理部門を当社に集約		
2004	平成16	4.	—	東亜エンジニアリング：中部事務所設置	3	九州新幹線部分開業（新八代―鹿児島中央間）

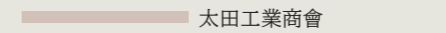
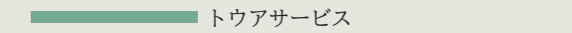
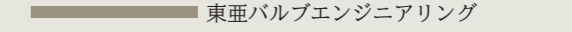
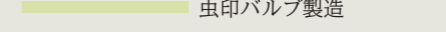
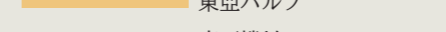
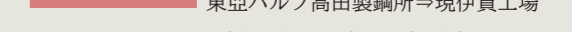

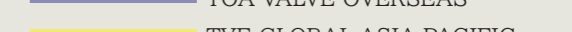
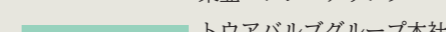
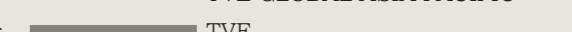
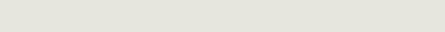
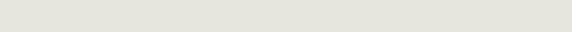
西暦	和暦	月	日	当社事項	月	一般事項
		5.	—	トウアバルブグループ本社：第1回「TVG技術大会」開催	5	裁判員制度法公布
		6.	—	東亜エンジニアリング：柏崎出張所撤収	8	美浜原発3号機で配管破裂事故発生
		10.	—	東亜エンジニアリング：基幹システム（TEK-ERP）稼働開始	8	アテネオリンピック開幕
		10.	—	トウアバルブグループ本社：高田製鋼所とCMS契約締結	10	新潟県中越地震発生（M6.8）
		—	—	東亜バルブ：高差圧対応小口径デラックスニードル弁の開発	11	改正道路交通法施行、運転中の携帯電話使用不可に
		—	—	東亜バルブ：（共同研究）弁シート面健全性に関する研究	12	スマトラ沖大地震
		—	—	TOA VALVE OVERSEAS：増資により資本金が40万シンガポールドルから30万シンガポールドル増加し、70万シンガポールドルとなる		
2005	平成17	1.	—	東亜エンジニアリング：四国電力㈱伊方発電所、MS-SPEEDによる主蒸気安全弁検査開始	2	京都議定書発効
		3.	—	TOA VALVE OVERSEAS：SAC-SINGLAS取得	2	中部国際空港開港
		4.	—	トウアバルブグループ本社：コンプライアンス委員会設置	3	愛知万博「愛・地球博」開幕
		4.	—	トウアバルブグループ本社：「役員行動規範」制定	4	ペイオフ全面解禁
		5.	—	東亜バルブ：中国安全弁製造許可証を取得	4	JR福知山線脱線事故
		6.	—	トウアバルブグループ本社：情報開示委員会、内部監査室設置	5	プロ野球で初のセ・パ交流戦が行われる
		8.	—	東亜バルブ：中国ハルビン・ボイラへ玉環超々臨界発電所向ニードル弁、初受注	7	中国通貨・人民元の為替レート2%切り上げ、対ドル固定相場制変更
		8.	—	東亜バルブ：ゴミ発電プラント・IPP（独立系電力事業者）発電プラント用「汎用中圧全量式安全弁」を開発	8	ハリケーン・カトリーナがアメリカ南部に上陸。死者1,100人以上の被害をもたらす
		9.	—	トウアバルブグループ本社：アメリカのハリケーン「カトリーナ」被害に対する義援金	10	道路公団の分割民営化により、高速道路会社6社が発足
		10.	—	トウアバルブグループ本社：パキスタン・インド北部地震災害に対する義援金	12	人口、初の自然減
		12.	—	東亜エンジニアリング：中部電力㈱浜岡原子力発電所5号機の初回定検受注	—	トウアバルブグループ本社：主要顧客である関西電力㈱の原子力事業本部が福井県若狭地区に移転
		12.	—	高田製鋼所：焼結事業部 ISO9001取得		
		—	—	東亜エンジニアリング：小松正信が代表取締役社長に就任		
2006	平成18	1.	—	東亜エンジニアリング：九州電力㈱川内原子力発電所、MS-SPEEDによる主蒸気安全弁検査開始	1	日本郵政株式会社発足
		4.	20	東亜バルブ：㈱日立製作所電力グループ日立事業所より東亜バルブに「原子力発電機器調達活動に対する協力への感謝状」授与	2	トリノ冬季オリンピック開幕
		4.	25	東亜バルブ：三菱重工業㈱より「改善提案による原価低減の貢献にかかる感謝状」授与	2	神戸空港開港
		4.	26	東亜エンジニアリング：尼崎労働基準協会会長より「無災害18万時間（2004年1月～2005年12月）」授与	4	関西電力㈱大飯発電所長より協力会社・㈱仲栄工業と(有)東洋メンテナンスに「大飯発電所4号機第10回定検における5S活動優秀会社表彰」授与
		5.	—	高田製鋼所：金屋子神社鳥居改修	4	瀬戸内しまなみ海道全通（今治―尾道間）
		5.	—	TOA VALVE OVERSEAS：センバワンシップヤードベンダー登録	4	竹島調査問題で日韓関係緊張
		7.	—	高田製鋼所：鋳鋼製造工場の中核である鋳造プロセスの変更を決定。1カ月間工場の操業を停止し設備を更新	5	会社法施行
		8.	8	東亜エンジニアリング：四国電力㈱伊方発電所長より伊方出張所に「定検無事故無災害（1997年8月31日～2006年4月27日）」授与	6	サッカーW杯ドイツ大会開幕。日本は予選敗退
		8.	—	高田製鋼所：造型プロセス変更および熱処理炉・焼鈍炉自動化工事完成	6	改正容器包装リサイクル法成立（2007年4月施行）

	太田工業商會		トウアサービス
	虫印バルブ製作所		東亜バルブエンジニアリング
	虫印バルブ製造		高田製鋼所
	東亜バルブ		東亜バルブ高田製鋼所⇒現伊賀工場
	東亜機材		TOA VALVE OVERSEAS
	東亜エンジニアリング		TVE GLOBAL ASIA PACIFIC
	トウアバルブグループ本社		TVE

西暦	和暦	月	日	当社事項	月	一般事項	
		9.	—	東亜エンジニアリング：苦小牧事務所閉鎖	7	日銀がゼロ金利政策を5年4カ月ぶりに解除	
		9.	—	東亜バルブ：社殿（稲荷）・鳥居設置	9	秋篠宮家に第3子、悠仁親王誕生	
		10.	—	東亜バルブ高田製鋼所：東亜バルブが高田製鋼所を吸収分割の方式により会社分割、東亜バルブ高田製鋼所に改組	10	携帯電話番号ポータビリティ制度開始	
		10.	—	TOA VALVE OVERSEAS：ケッパルシップヤード ベンダー登録	11	2002年2月から58カ月続く景気拡大局面が戦後最長に。「いざなぎ景気」を超える	
		12.	4	東亜バルブ高田製鋼所：石川島播磨重工業(株)機械事業部回転機械事業部より「圧縮機事業の発展のため、永年卓越する技術と抱負な経験で多大な貢献」授与	—	加圧水型原子炉（PWR）の老家であるアメリカのウエスティングハウス社が東芝に買収されることが明らかになる	
		12.	—	東亜エンジニアリング：日本原子力発電(株)敦賀発電所より「安衛協30周年感謝状」授与			
		12.	—	トウアバルブグループ本社：佐々木篤が代表取締役社長を退任、浅岡實が代表取締役社長に就任			
2007	平成19	1.	—	東亜エンジニアリング：若狭事務所を若狭支社に改称	1	防衛省発足	
		1.	—	トウアバルブグループ本社：内部統制構築	1	鳥インフルエンザが宮崎県で拡大	
		1.	—	東亜バルブ：宇宙航空研究開発機構（JAXA）向けジェットエンジン燃焼試験設備用超高温高圧圧力調整弁（水冷式バタフライ弁）納入	2	第1回東京マラソン開催	
		1.	—	東亜エンジニアリング：北海道電力(株)泊発電所、MS-SPEEDによる主蒸気安全弁の検査開始	3	イオンと経営再建中のダイエーが資本・業務提携で正式に合意	
		2.	—	東亜エンジニアリング：関西電力(株)大飯発電所2号機、外国製弁国産化受注	3	大丸と松坂屋が経営統合を発表	
		2.	—	東亜エンジニアリング：北陸電力(株)志賀原子力発電所2号機初回定検、TOA製バルブメンテナンス一括施工	3	国土交通省発表の公示地価の全国平均が1991年以来16年ぶりに上昇	
		4.	—	東亜バルブ：ホイストスケールデジタル台秤導入	3	伊勢丹と東急百貨店が業務提携	
		6.	—	東亜バルブ高田製鋼所：厚生棟改修工事	3	旧・防衛庁跡地に東京ミッドタウン開業	
		7.	19		東亜エンジニアリング：関西電力(株)高浜発電所所長より高浜出張所に「高浜発電所定検工事7,000日労働無災害達成表彰」授与	3	住宅金融公庫廃止。翌4/1、独立行政法人住宅金融支援機構に改組
		8.	—	東亜バルブ高田製鋼所：シェーカー設備改修	5	祝日法の改正で5/4が「みどりの日」に	
		9.	10		東亜エンジニアリング：四国電力(株)伊方発電所所長より「連続5定検工事放射性廃棄物低減推進活動優秀表彰」授与	7	新潟県中越沖地震発生（M6.8）、柏崎刈羽原子力発電所が運転全面停止
		9.	—	東亜バルブ：弁体切断機更新	9	日本の月探査衛星「かぐや」打ち上げ成功	
		9.	—	東亜バルブ：対話型NC付旋盤、小型ラジアルボール盤導入	10	郵政民営化	
		10.	31		東亜エンジニアリング：四国電力(株)伊方発電所所長より伊方出張所に「伊方発電所運転開始30周年感謝状」授与	10	関西電力(株)大飯発電所所長より協力会社・(株)東洋メンテナンスに「大飯発電所4号機第11回定検5S活動優秀賞」授与
		11.	22		東亜バルブ：三菱重工業(株)神戸造船所品質保証部より「原子力施設の安全性信頼性貢献に対する感謝状」授与	11	75歳以上の推計人口が初めて全人口の1割を超える
		11.	—	東亜バルブ高田製鋼所：分光分析器更新	12	社会保険庁が「ねんきん特別便」の発送開始	
12.	—	東亜バルブ高田製鋼所：台車式電気炉（800℃）新設・集塵機増設					
12.	—	トウアバルブグループ本社：尼崎市内の高校生が本社工場を見学					
—	—	—	トウアバルブグループ本社：その他の事業としていた鋳鋼製造事業をバルブ製造事業に移管				

西暦	和暦	月	日	当社事項	月	一般事項
2008	平成20	3.	—	東亜バルブ：汎用フライス機更新	1	関西電力(株)大飯発電所所長より協力会社関西メンテナンスに「大飯発電所2号機第21回定検工事5S活動優秀賞」授与
		5.	—	東亜バルブ：第四変電所更新	2	東芝がHD-DVDから撤退を発表
		5.	—	東亜バルブ：NCボーリング機（BN-6）更新	4	後期高齢者医療制度開始（対象：75歳以上）
		8.	—	東亜バルブ：マシニングセンター（MC-4）導入	7	北海道洞爺湖サミット開催
		10.	1	トウアバルブグループ本社：バルブ製品製造事業を主要事業とする東亜バルブと、バルブメンテナンス事業を主要事業とする東亜エンジニアリングの主要子会社2社を合併	7	アメリカのアップル社製の携帯電話アイフォーン（iPhone）、日本で発売
		10.	8	トウアバルブグループ本社：尼崎市防火協会西支部長より「屋内消火栓操法の部準優勝」授与	8	北京オリンピック開幕
		10.	—	東亜バルブエンジニアリング：東亜バルブが東亜エンジニアリングを吸収合併し、東亜バルブエンジニアリング（TVE）になる	9	米販売会社「三笠フーズ」が事故米を食用と偽り転売し全国に流通
		10.	—	東亜バルブエンジニアリング：インド向け弁体切断機、更新機として納入	9	アメリカの証券会社リーマン・ブラザーズ破綻
		11.	4	東亜バルブエンジニアリング：四国電力(株)伊方発電所所長より「伊方発電所1・2・3号機A評価取得感謝状」授与	10	松下電器産業が社名をパナソニックに変更
		11.	10	東亜バルブエンジニアリング：尼崎市防火協会会長より「屋内消火栓操法の部最優秀」授与	12	南部陽一郎、小林誠、益川敏英がノーベル物理学賞、下村脩がノーベル化学賞を受賞
		12.	—	東亜バルブエンジニアリング：立て旋盤2基更新	—	「100年に一度」の世界的金融危機
		—	—	東亜バルブエンジニアリング：（電力委託）安全系電動弁の性能評価（弁座摩擦係数の評価他）	—	—
—	—	東亜バルブエンジニアリング：（自社研究）液圧ナットの開発（締付トルクの均一化、分解・組立工数低減および原子力発電所での被ばく低減）	—	—		
2009	平成21	4.	—	東亜バルブエンジニアリング：新人事制度導入	5	新型インフルエンザ、国内で初確認
		5.	—	東亜バルブエンジニアリング：製鋼製造部ISO9001認証取得	5	裁判員制度導入
		7.	—	東亜バルブエンジニアリング：製鋼事業部で、海洋開発向けの海水淡水化装置などに使用される高耐食性・耐酸性に優れたスーパー2相ステンレスの材料開発終了。製作・納入開始	8	衆院選で民主308議席の圧勝、政権交代で翌月16日に鳩山由紀夫内閣発足
		9.	—	東亜バルブエンジニアリング：焼結金属製品製造事業で弱電・自動車など主要顧客の生産調整の影響を受けて受注が激減し、回復の見通しが立たなくなる。グループの基盤事業であるバルブ関連事業に資源を集中するため、当事業を廃止	9	消費者庁発足
2010	平成22	10.	—	トウアバルブグループ本社：2010年4月1日に子会社の東亜バルブエンジニアリングと合併することを決定	—	—
		4.	—	トウアバルブグループ本社：(株)トウアバルブグループ本社が、子会社である東亜バルブエンジニアリング(株)を吸収合併し、社名を東亜バルブエンジニアリング(株)に改称	6	小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還
		7.	—	東亜バルブエンジニアリング：中国HEハルビン・パワー・プラント・バルブ社と「抽気逆止弁」「鍛造玉形弁」の製造に係る技術提携を締結	—	—
—	—	東亜バルブエンジニアリング：国内新設原子力発電所向け、同火力発電所向け、中国新設原子力発電所向けなどの大型案件を受注	—	—		
2011	平成23	2.	—	東亜バルブエンジニアリング：新たにボルトリング事業を開始するため、液圧ナットの特許実施権を取得	3	東日本大震災発生（M9.0）。津波、東京電力(株)福島原発事故による被災者多数
		10.	—	東亜バルブエンジニアリング：中国原発AP1000三門1号にサイズ600mm湿分離加熱器逃し弁を納入	3	九州新幹線全通（博多－鹿児島中央間）



	太田工業商會		トウアサービス
	虫印バルブ製作所		東亜バルブエンジニアリング
	虫印バルブ製造		高田製鋼所
	東亜バルブ		東亜バルブ高田製鋼所⇒現伊賀工場
	東亜機材		TOA VALVE OVERSEAS
	東亜エンジニアリング		TVE GLOBAL ASIA PACIFIC
	トウアバルブグループ本社		TVE

西暦	和暦	月	日	当社事項	月	一般事項
		12.	22	東亜バルブエンジニアリング：浅岡實社長が相談役に、唐澤裕一が代表取締役社長に就任	7	サッカー女子 W 杯ドイツ大会で、日本女子代表が初優勝
		—	—	東亜バルブエンジニアリング：中国政府より安全弁の安全製造許可証を取得	7	地上デジタル放送に移行(被災 3 県(岩手・宮城・福島) は翌年 3 月)
		—	—	東亜バルブエンジニアリング：中国で初めて原子力発電所向けバルブの受注に成功		
2012	平成 24	12.	—	東亜バルブエンジニアリング：「七本の矢」作戦本部として正式に会社の組織に織り込む	5	東京スカイツリー開業
		—	—	東亜バルブエンジニアリング：A-USC プロジェクトにプロジェクトメンバーとして正式に参画	12	三菱重工業(株)と(株)日立製作所が火力発電分野の統合を発表
2013	平成 25	2.	—	東亜バルブエンジニアリング：本格除染の対象地域に近い、福島県いわき市に福島地域再生事業所開設、除染工事を本格的に開始	4	大阪駅北地区(うめきた)の先行開発地域「グランフロント大阪」開業
		4.	—	東亜バルブエンジニアリング：中国 HE ハルビン・パワー・プラント・バルブ社と「湿分分離加熱器逃し弁」の製造に係る技術提携を締結		
2014	平成 26	7.	—	東亜バルブエンジニアリング：福島県いわき市に子会社(東亜クリエイティブ)を地元企業との共同出資で設立	4	消費税 8% に引き上げ実施
		—	—	東亜バルブエンジニアリング：製鋼事業でホスト式クレーンに設備投資	6	改正電気事業法成立。2016 年から電力小売りが自由化
		—	—	東亜バルブエンジニアリング：バルブ事業・製鋼事業で基幹システム高度化に設備投資	8	国内で約 70 年ぶりにデング熱感染を確認
		—	—	東亜バルブエンジニアリング：バルブ事業で電動弁診断装置 TACS に設備投資	12	赤崎勇、天野浩、中村修二の 3 氏がノーベル物理学賞を受賞
2015	平成 27	12.	—	東亜バルブエンジニアリング：真鍋吉久が社長に就任	8	九州電力(株)川内原発 1 号機が新規規制基準下で初の再稼働を果たす
		—	—	東亜バルブエンジニアリング：バルブ事業で上下水配管地上化工事に設備投資		
2016	平成 28	2.	—	東亜バルブエンジニアリング：(株)キッツと資本業務提携契約を締結	1	日銀、日本の金融政策で初のマイナス金利を導入
		9.	30	東亜バルブエンジニアリング：第 1 次中期経営計画「2021・100 年前夜 TVE 再成長プラン」公表	1	関西電力(株)高浜原子力発電所 3 号機が再稼働
		10.	—	東亜バルブエンジニアリング：収益改善プロジェクト「七本の矢」作戦を「プロジェクト 7」として再開	3	北海道新幹線開業(新青森駅-新函館北斗間)
		12.	22	東亜バルブエンジニアリング：第 17 回定時株主総会決議に基づき、監査等委員会設置会社に移行	4	熊本地震発生(14 日に M6.5、16 日に本震 M7.3)
		—	—	東亜バルブエンジニアリング：バルブ事業で事務所空調機器更新	12	政府が高速増殖原型炉もんじゅの廃炉を正式決定
2017	平成 29	11.	—	東亜バルブエンジニアリング：中期経営計画を見直し、改訂版を第 2 次中期経営計画「2021・100 年前夜 TVE 再成長プラン」として公表	3	特許庁が色と色を組み合わせた「色彩」を商標として登録すると発表
		12.	—	東亜バルブエンジニアリング：真鍋吉久が取締役会長に、笹野幸明が社長に就任	4	レゴランド・ジャパン開園
		—	—	東亜バルブエンジニアリング：バルブ事業で工場空調機器更新	5	関西電力(株)高浜原子力発電所 4 号機が 1 年 3 カ月ぶりに再稼働
		—	—	東亜バルブエンジニアリング：バルブ事業で 15 トンモノレールプラストに設備投資		
2018	平成 30	—	—	東亜バルブエンジニアリング：バルブ事業でスカイウェル製自動溶接機に設備投資	6	大阪府北部地震発生(M6.1)
		—	—	東亜バルブエンジニアリング：バルブ事業・製鋼事業で熱処理炉台車に設備投資	9	台風 21 号が日本上陸。関西の広範囲で甚大な被害発生
2019	令和	10.	1	東亜バルブエンジニアリング：廃炉関連事業への本格参入を目指し、子会社として TVE リファインメタル(株)設立	5	剣璽等承継の儀。皇太子徳仁親王が天皇の位に即き、新元号「令和」に改元

西暦	和暦	月	日	当社事項	月	一般事項
		10.	—	東亜バルブエンジニアリング：大阪で開催された機械要素技術展に出席	6	第 14 回 20 国・地域首脳会合(G20 首脳会合)が大阪で開催。大阪市内で厳戒態勢
		—	—	東亜バルブエンジニアリング：最大かつ積年の課題である原価低減のため、TAMES(TOA Management Evolving System) Project を開始	9	ラグビー W 杯 2019 が日本で開催。10 月 13 日、日本代表が初の準々決勝進出決定
		—	—	東亜バルブエンジニアリング：メールマガジンの発信を新たに開始し、ホームページに「バルブソリューション」、「鋳鋼技術ラボ」、「TEST LABO」を同時に開設	10	消費税 10% に引き上げ実施。一部の製品で軽減税率制を導入
		—	—	東亜バルブエンジニアリング：バルブ事業・製鋼事業で PC を Windows 10 PC に入れ替え	12	吉野彰を含む 3 氏がノーベル化学賞を受賞
		—	—	東亜バルブエンジニアリング：バルブ事業で NC 正面旋盤に設備投資	12	12 月初旬に中国の武漢市で第 1 例目の新型コロナウイルス感染者が報告され、わずか数カ月間で世界中に拡散
		—	—	東亜バルブエンジニアリング：バルブ事業・製鋼事業で上水管理地上化工事に設備投資		
2020	令和 2	8.	—	TVE GLOBAL ASIA PACIFIC：シンガポールの子会社 TOA VALVE OVERSEAS Pte. Ltd. の社名を TVE GLOBAL ASIA PACIFIC Pte. Ltd. に改称	1	厚生労働省が日本初の新型コロナウイルス感染者発生を報告
		10.	1	東亜バルブエンジニアリング：TVE に改称	3	NTT ドコモが高速・大容量の次世代通信規格「5G」の商用サービス開始
		—	—	TVE：社名変更に伴い、「Challenge for the NEXT (TVE の挑戦は次のステージへ)」をコーポレートメッセージに掲げる	3	国際オリンピック委員会理事会で東京オリンピックの延期を決議
		—	—	TVE：バルブ事業でシステムバンドソーに設備投資	4	新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が 7 都府県に発令
		—	—	TVE：バルブ事業で自動溶接機に設備投資	7	改正容器包装リサイクル法施行、レジ袋有料化が義務化
		—	—	TVE：製鋼事業で CNC ルーターに設備投資	—	コンサート、大規模イベントなどの中止・延期が相次ぐ
		—	—	TVE リファインメタル：資源エネルギー庁より「原子力産業基盤強化事業補助金」に係る間接補助業者の採択を得る		
2021	令和 3	7.	9	TVE：東京証券取引所より、市場第二部から新市場区分「スタンダード市場」の上場維持基準に適合していることを確認	7	1 年遅れで東京オリンピック開幕。日本は計 58 個(金 27、銀 14、銅 17)のメダル獲得
		11.	29	TVE：創業 100 周年を超え「目指す将来像」の実現に向けて、中期経営計画 2019(2020 年 9 月第 21 期～2024 年 9 月第 25 期)の 2021 年 11 月改定版を公表	11	米大リーグ・エンゼルスの大谷翔平選手が今季のア・リーグ MVP に選出される。日本人選手ではイチロー選手以来、20 年ぶり 2 人目
2022	令和 4	1.	4	TVE：太陽電業(株)を子会社化	1	トンガで大規模噴火発生。日本沿岸に津波警報発令
		2.	3	TVE：伊賀工場で、特別高圧受電設備更新並びに付帯工事の地鎮祭を実施	1	ゆうちょ銀行が硬貨の預け入れに手数料を導入
		3.	10	TVE：創業 100 周年		



## 編集後記

---

2019（令和元）年9月に創業100周年記念事業の一環として実行委員会を立ち上げ、委員長笹野社長以下12人体制で、2020年4月の初会合において、実行委員会による100年史の編纂が正式に決まり、編纂委員が実行委員会メンバーより選出された。

その後、編纂方針や掲載内容、社史に必要な基本データの洗い出しなど、『東亜バルブ(株)70年史』『東亜エンジニアリング(株)25年史』ならびに『(株)トウアバルブグループ本社10年史』を参考にしながら、進めていった。

当社にとって社史編纂は1992（平成4）年に発刊した70年史以来、30年ぶりの作業となった。キックオフ後の早い段階で(株)出版文化社様への委託が決定し、連携して本史の企画を進めることになった。一方で編纂委員会より各本部の本部長に情報収集のための情報提供を依頼するとともに、過去の資料や写真の整理に取り組んだ。

本編・資料編は、70年史を参考に企画、また特集ページを入れることで100周年を迎えたTVEの現在を感じていただけるよう、「TAMES Project—TVEの新たな挑戦」「TVEの事業活動とSDGsの関わり」「TEST LABO」「職場紹介」「グループ会社紹介」「バルブができるまで」の6つの特集を企画した。

今回の社史編纂で今後の課題も明らかになった。過去の資料のデジタル化や管理方法が確立されておらず、当時の写真や資料の収集には編纂委員では限界もあり、大勢の社員のご協力を得て、なんとか最低限の点数を集めることができた。これを機にコーポレート・アーカイブの在り方を含め将来の検討課題とする。

考えてみれば、社史を編纂する目的のひとつは、創業の精神や企業文化を社員、関係者にわかりやすく伝えること、そして100年も存続している会社に誇りをもってもらうことである。社史編纂作業を通して、何度も資料と原稿に目を通し、沿革や当社の出来事、当時の社会情勢などを改めて知るきっかけになったことは良い経験と財産となった。

最後に当社史編纂にあたり、お忙しい中、原稿をお寄せいただきました皆様方、写真撮影や過去の膨大な写真の中から選別作業に携わっていただきました皆様方、社史作成に終始ご尽力いただいた編纂委員に心から感謝申し上げます。

株式会社 TVE 社史編纂委員会  
川上 浩 山口 誠  
山田 善男 矢倉 洋  
朝山 陽子

### TVE100年史

夢を、心を、技術をつなぐ

2022年10月発行

発行 株式会社TVE  
〒660-0054 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号  
TEL 06-6416-1184

編集・制作 株式会社出版文化社  
大阪・本町 東京・日本橋茅場町 名古屋・金山

執筆協力 田畑耕一

デザイン 樋口寛人 (mineral)

印刷・製本 大村印刷株式会社

© 2022 TVE Co., Ltd. Printed in Japan

※記事・写真の無断引用、無断転載および売買を禁じます。